

霊視経営コンサルタント
桜賀和愛美

【漫画】



霊能者 鎌倉 物語



**30年霊障に気づけなかった、
スピリチュアルアンチ人間が
霊能も使うコンサルになるまでのお話し**



はじめに

初めまして。霊視経営コンサルタントの桜賀和愛美（おがわまなみ）と申します。

「霊視!？」

「怪しい!!！」

そうですね…。分かります。私もちよつと前までは

見えない世界なんて無い

神様も守護霊もない

見えないものに頼るなんて馬鹿馬鹿しい

現実をしっかりと生きられない人が見えない世界などと言うのだ。

そう思っていました。

そう。

見えない世界「どアンチ」派です(笑)

それが何でこんな堂々と「霊視経営コンサルタントです」なんて名乗るようになってしまったのか…？

普通に考えたらおかしいですよ。その答えがこの漫画の中に載っているのですが、始めに簡潔に申し上げますと、

「残された道がそれしかなかったから」

です。現実頑張ろうとすると立ちはだかる何だか良く分からないもの…。

『これは…何だ？』

頭の中に「霊障」だとか「見えない世界のメッセージ」なんてものは毛頭除外しているので現実で考えます。

『こういうことだな！』

が…。

また立ちはだかります。その連続です。

よく、クリアしていない問題は避けてもまた目の前に大きくなって立ちはだかると言いますが、完全にそれだと思ってました。頑張って、頑張って、頑張って…、何と三十年経ってました(笑)

いや、流石にオカシイわ。

物理的に理解できない事もあったので、頭がオカシイのか？などと、と考えに考え…、

「そういえば父は見えない世界が見える人間だったような…？」

そこでやっと『もしや…？』と、勘づき始めました。(笑) (確信にはまだ至っていません)

本気で人生なんとかしたい。そう思っただけの世界と見えない世界、両面でしらみつぶしにローラー作戦(もてる財産だけの小さな世界ですが)をした結果、運命的な出会いがあり、現在に至ります。そのスピードは速く、抵抗する間もなくもう対岸に流れ着いていたような感覚でした。

さて、かくして私は友野の弟子となり、経営者のタマゴになるのですが、やはり元が元なのです

んなり順風満帆ではなく……。毎日友野に叱られていました。手のかかる弟子だったと思います。そんな中友野の繋がりで他の既に成功されている経営者の方々にお会いするのですが、当初私は衝撃を受けたセリフがあります。

「経営者ってね、発達障害が多いんだよ。私もそうだし、あの人も、あの人もそうだよ」
えー！？です。

そんな馬鹿な！？

です。億稼いでいるのに！社会のゴミのように扱われ、この障害で散々だったのに、経営者に多い！？しかも、

「発達障害ってね、靈感強い人凄く多いんだよ」

またまた、えー！？です。

もう今までの常識が打ち破られて、目から鱗が千枚ぐらい流れていきました。

更に友野は、

「靈感というものはこの地球上全員にある。靈感の能力がそれぞれ違う。そして、霊能とは万能ではない。しかし、ビジネスにこそ見えない世界というのがとても大切なんだ」

…もう、分けがもう分かりませんよね…。

じゃあ霊能者ってなんやねん！

霊能万能じゃないんだったらなんやねん！

何でそんな不確かなものが緻密なビジネスに必要やねん！！

なんなんやねん！！！！

私は一年かけて友野につきっきりでそれを学び、体感し、見聞きしてきてようやく…分かりかけ
てきました。

分かりかけてきた、というのは…奥が深いので勿論全部とまでは行きません。全部だったら神に
なってしまうですから…。

なので、アンチだった私が理解するまでのほんの一部ですが、漫画におこそうと思ったのです。
言葉では伝えきれないものを絵におこせば分かりやすいかと思いましたが、それから、人間の霊能
力の事、霊障が起こっている人の周りの方は恐らくもつと分からない事ばかり…。何が起きてい
るかが分かるように…。人がより良くなるヒントが少しでも得られるように…。そう思ってこの
本を作成させて頂きました。

霊能者・見えない世界・霊障・ビジネス・人生・家族…

私が体験した私の例を話していききたいと思います。

これはあくまで私の体験例なので、全ての人に合うはずがありません。
が、近い事、思い当たる事はあるかもしれせん。

ご参考になりましたら幸いです。

是非お楽しみください。

はじめに

【第一章】

霊能者がであったら

霊能者をナナメに見る女

自分の力を計れない者達の集い

困難極める霊視鑑定

ウツカリ…では済まされない！

天国へ行く道

決死のドライブ

真昼に開く地獄の扉

吸引力が半端ない！

第一章まとめ

【第二章】

靈障をやっつけろ！

本当に大丈夫……？

井戸の夢※微ホラー注意

闇の中のクマ

消えたモノ。増えたモノ。

靈障でアバラが折れた日

師匠、決断する

三十年間の闇、晴れた時（一〜三）

第二章まとめ

【第二章】

友野、拒否される

見えないモノの痕跡？

いる！！

理不尽に挟まれる霊能者

守護霊からの絵の腕試し（一〜三）

恋はどうですか？

友野のコールドリーディング疑惑（一〜四）

友野の性格偽り疑惑！？

大好き過ぎて無意識すぎた

飛び出してきたのは…？

第二章まとめ

【番外編】

霊障起こる人だいたい暇…？

通じないのも良い思い出

ダジャレで教えてあげましょう

妹はツライよ

ダメ！天邪鬼

霊障下での精神病院

引き寄せ、発動しました。

終わりに

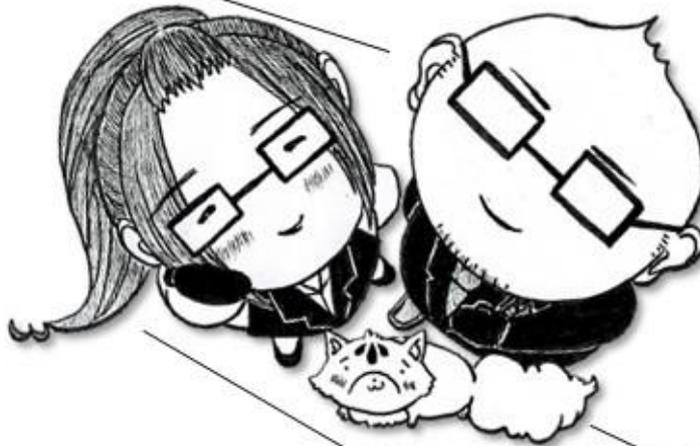
感謝

靈視経営コンサルタント 【メンバー紹介】

ともものたかひろ
友野高広



■1973年東京都生まれ■高校卒業後、商社、アパレル、物流、コールセンター、IT、通販など、複数の業界や企業で経験を積む■「使命」で「起業」したい全ての”ひとりビジネス起業家”の方へ「靈視×経営コンサル」を展開■法人企業との顧問契約、起業家向けの靈視鑑定、起業コンサルティングなど、ビジネス界に向けて、スピリチュアルをビジネスに生かす活動を行っている。



きつね
ちゃん

■1987年埼玉県生まれ■高校卒業後、複数の業界や企業で経験を積む■2019年より友野高広に師事する■前世視、未来視、土地や家の靈視が専門分野。30年靈障に悩まされた経験から、靈障などの靈視も得意■生後2週間の記憶や生まれる前の記憶、前世記憶がある■過去に生死を彷徨うような重度な靈障経験があり、その特異な経験を生かし、陰陽の両方からの視点でみれるのが特徴的で評価が高い。



おがわまなみ
桜賀和愛美

第一章

靈感ゼロだと思っていた
スピリチュアルアンチ女が、
三十年人生が上手く
いかなかったため、
精神病院と霊能者五人に会う
“スピリチュアルマラソン”をした。

結果、

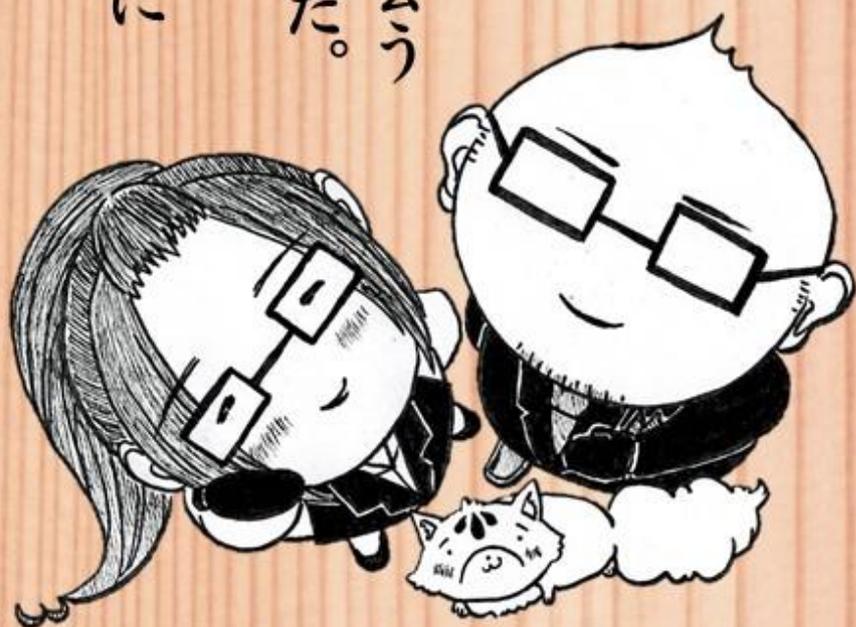
ある一人の本物の霊能者に
出会ったおかげで

三十年重度の霊障が
あったという事が判明する…。

因みに精神病院では

ADHDとASDがあると判明。

そんなこんな第一章が始まります。



霊能者がであったら

桜賀和は霊障に困っていた。
霊障かは分からなかったが、
一つの可能性として霊能者に
会うことにした。

この人は
どういじやない。
ストロベリー...



スピリチュアルは
あんまり信じてない
ケド。



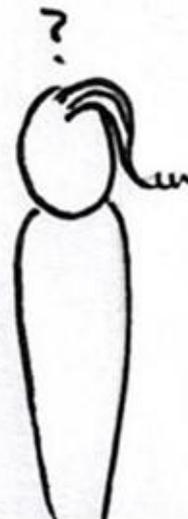
そして秋葉原で一人の
霊能者と会う事になった。
会う事に・・・？

・・・？



・・・宇宙人？

・・・たぬき？



2人はそれぞれ、
人間じゃない印象を受けた。
それが、師匠友野高広と、
桜賀和愛美の出会いだった。

続く

後々にも出てきますが、あまりにも人生が上手くいかな過ぎたために

現実的な方面と目に見えない世界と両方同時にその道のプロの門を叩きまくるといふ、とにかく解決に向けて行動しまくっていました。この頃二十九歳でした。

とは言え、まさか自分に靈感も霊障も無いと思っていたので見えない世界が見える方にお会いしても現実の解決策が出て来るかな？多少見えない世界の対処法なども出て来るかな？ぐらいに思っていました。

精神科医の先生はネットで出てきますが、見えない世界のプロは検索してもあまり

ピン！と来る方がおらず、半数以上は口コミで伺わせて頂きました。

確か後の師匠となる友野は見えない世界のプロに伺わせて頂いた最後から二番目ぐらいで出会えた人です。

この時は秋葉原で会いましたが、今は事務所を持っているのでこういった鑑定は現在しておりません。

私の友野の第一印象は

「地球に仕方なくいる、人間の皮を被った宇宙人」

でした。凄い印象ですよ。あー仕方なくいるんだなあ。と本当に思っていました。

しかしまさか、友野が私のことをタヌキと思っていたとは…。

後から聞いて“どういう意味？”と聞き返してしまいました。

印象なので、意味とか無いのですが…(笑)

霊能者を ナナメに見る女





この頃は師匠はまだ一人人でやっており、試行錯誤していたようです。

様々な霊能者さんや占い師さんにお会いしてきましたが、

漫画内のようにあちらが何かを用意してくださっていたケースというのは師匠だけでした。

しかし今振り返っても、「霊能者」と「領収書」ギャップが凄すぎです(笑)

この頃私はまだ見えない世界が本当にあることも、

自分に霊能力があるなんてことも知らず、見えない世界と霊能者に対してアンチでした。

なので、太っているからとかそういった体系だけで批判をするような人間ではないのでご安心ください…。

霊能アンチがそうさせていたのです…。

自分が依頼したのに、失礼な奴ですよ。本当。

今までが今までだったがために、全てが怪しく見えてしまっていたのです(笑)

自分の力を計れない 者達の集い



これは…、
まぎれもなく本物…
凄い…!!



※様々な補正が
かかっています

これでやっつと、
長年抱えていたものが
晴れるかもしれないな…

これは…
凄いですよ…
おがわさん。

私より靈感が
強いです!!

すげえ…

んなバカな…。

なかなか信じられるに至らな
い可哀そうな師匠だった…。続く

霊能者たちは、自分の事はみることができないので、自身の事はおざなりかつ、不明な点がかなりあります。

友野は未だに、鏡を見ようが、自分を写真に写してみようが、自分のオーラは見えないそうです。

私も自分の事や親族、かつて自分の親族だった人は物凄く見えにくいです。ほぼ見えないと言っていると思います。

同じ深度で見える霊能者が対面した時、私たちのような職業は未知への扉が開かれます・・・。

珍獣×珍獣状態です(笑)

この時はお互いに凄く真剣にお互いを観察していましたが、

4コマになるととても奇妙で、面白いですね(笑)

困難極める 靈視鑑定

会った時から何か変だと思って
いたけれど…。改めて見ると
やっぱりオカシイ…。この現象
は一体どういうことなんだろ
う？こんなものありえない…。
極端に良いものと極端に悪いも
のが混在なんてありえない。



実は…

オーラの内側が異常に光ってい
る…。一般的な人の4、5倍
光りすぎている…。何かから
護っているのか、それとも…、
これが原因なのか…。？

とにかくどこを務めてもほぼ全員敵になり
やめることになり、続きません。体が異常
に疲れやすく、80過ぎの祖父と同じ体力
ぐらいです。幼少期から変な事もありまし
たので、見えないものも関係あるかも知れ
ないと思って…。



ふむ。
どんなことが今ま
でありましたか？

こんなにエネルギーが高いのに…。社長
や経営者と同じ大きさだ。レイキを伝授
されていないのに上(宇宙)と繋がって
いる。こんなに太く…。それからずっと
気になっている事がある…。



私が一番初めに師匠である友野高広に霊視鑑定してもらった時のことを描かせて頂いています。

その内の第3話目。

東京で落あい、個室で霊視鑑定をしてもらったのですが、かなり慎重に見ていてくれたなあと思ひ出します。この漫画は後から聞いたらこんな状態だったそうです。

師匠が何に混乱していたのかというと、霊障というのは通常、低いエネルギーに低いエネルギーのものが寄ってきて様々な事が起こるものなのです。

なので、高いエネルギーの方が霊障が起きるといふのはありえないのです。

この時友野は私の中のものに微かに気がついていたようなのですが、相手が隠れるのが相当うまく、

また当時の友野からしたら、ありえないケースの霊障なので、様子見をしたとのことでした。

この漫画の中で話している霊障。

（霊障と言っていますが、これは霊障以上なので参考にならないかと思いますが、他に呼び方が無いので、とりあえず霊障と表記させて頂きます）

こぶし大のカナブンは家の通路に2匹現れ、私は家の中なのに監禁状態にされ、トラウマになりました。

これ以来、ずっとカナブンはソフトボール大の大きさだと思っていました。

未だにカナブンはトラウマで見るのも困難です（笑）

#ウツカリ...では 済まされない!

それから私たちは2時間も話し込んだ。産まれてからこれまで
のことを話す勢いだった。驚く
ほど似た体験をしてきている...
お互いの見えてきている事、知って
いる事が同じでとても有意義な
時間だった。



そして、こんな嬉しいことは無
かった。なぜなら、同じ景色を
見る人がいないという事はある
種孤独だからだ。

桜賀和さん、
一緒に...

ビューティープ●ス加工済

仕事を

しませんか?

という成り行きだったなあ...
あの時は何でそう言ってくれるのか分か
らなかつたけれど、本当に能力を見出し
てくれていたみたいだ...。まさかこんな
ドップリ霊能の仕事をするとは思ってな
かつたけど...。今から思うと感謝だな...



初めての霊視鑑定のその日は、1時間の枠であったにも関わらず、お互いの能力がどのぐらいかを知ってしまい、あーだこーだと2時間以上も話してしまいました。

「わかる！」の、連続でした。

まさか自分の見聞きしたことや知っている事をここまで分かる存在がこの世にいたとは……。と、感動したものです。そして、ホツつともしました。それは師匠も同じだったようです。

ただ、「一緒に仕事をしよう」と言った師匠も、「はい！」と言った私も半分言わされていたようなので、

このようになってしまったようです。しかしそれにしても、あまりの自覚のなさに驚いてしまいました。

なにしろ事実こう言われましたので……(笑)

仕事だとちゃんと覚えているのにどうしてこういうところがすっぱり抜けてしまうのか…。
悪意ゼロなのが余計にたちが悪いです(笑)

霊能者二人体制の鑑定と言うのは本来、とても難しいものだと思います。

全てが同じレベルでないと、沢山の食い違いが発生し、押しの強い方に片方が合わせる…なん
ていう、

事が起こりかねません。私たちがいつも指針にしているのは、

「相談に来られた方が本来の力を十分に発揮し、今以上に発展する未来への一つのキツカケに
なるよう努めること」

あくまでビジネスベースで霊視を進行していくスタイルとなっています。

そういう所も一緒に鑑定できる一つの要素だと思っています。

あ、ちなみにこの「ビューテーパー●ス加工」という、大幅なビューテーパー加工はこの漫画では度々出て来るかと

思います。実物はホームページに写真がありますので、現実との差を是非お楽しみください

（笑）

#天国へ行く道

鑑定後：

何か凄かったなあ…。
今まで悩んでたこと全部解決
しちゃったし…。
かと言って地に足つかない話し
じゃなかった…。
仕事することになっちゃったし…。
特に最後…。



桜賀和さん、
最後に一つ守護霊さんが
お聞きしたいそうです。

あなたは、天国と地獄…。
どちらに行きたいですか？

……天国ですか？

天国に行くには、天国へ行く
選択をしなければ行けません。

これからは天国へ行く
選択をし続けてください。



天国へ行く選択をし続ける…、か。

今日は凄い人に会った。今まで霊能者の方に何人か会って来たけれど、友野さんが一番しっくり来たなあ。しっくりどころか、ここまで打ち解ける事になるとは…！

興奮すると頭の中で 沢山喋るタイプ



しかし情報がいっぱいだ！
霊能力が私にあったなんて未だに信じられない！
もう一度友野さんが書いてくれた鑑定シートを見て考えをまとめよう！

しまった…。
話に夢中になりすぎた…。



うん。
えっと…

思い出して、
記録しようかな？

師匠が最初に不穩に思った点以外、この鑑定の最後ではほぼ全てが自分の中でスッキリし、私は自分の人生が殆ど靈障で右往左往していたことが分かりました。

原因が分かれば対処はできます。その希望で一杯の帰り道でした。

ただ、師匠も私も、話に夢中で現在の鑑定のように録音を「可」にしていまませんでしたし、記録係である私がまだいなかったので：備考欄が真っ白に（笑）

師匠は守護靈さんから話を聞いているので同時に2つ進行はとても難しいです。

鑑定時の内容は殆ど覚えておりません。

なので、仕方ない空欄でした。そうとは知らず後日友野に

「あの時はこういふこと言ってくださって大変参考になりました。ありがとうございます」

と言ったところ

「そんなこと言ったっけ？」

と覚えていない様子で、驚いたことを思い出します。

・・・媒介者は、大変なようです。

決死のドライブ

それから私は見えない世界、
スピリチュアルなどは
2、3ヶ月
無縁で過ごしてきた。



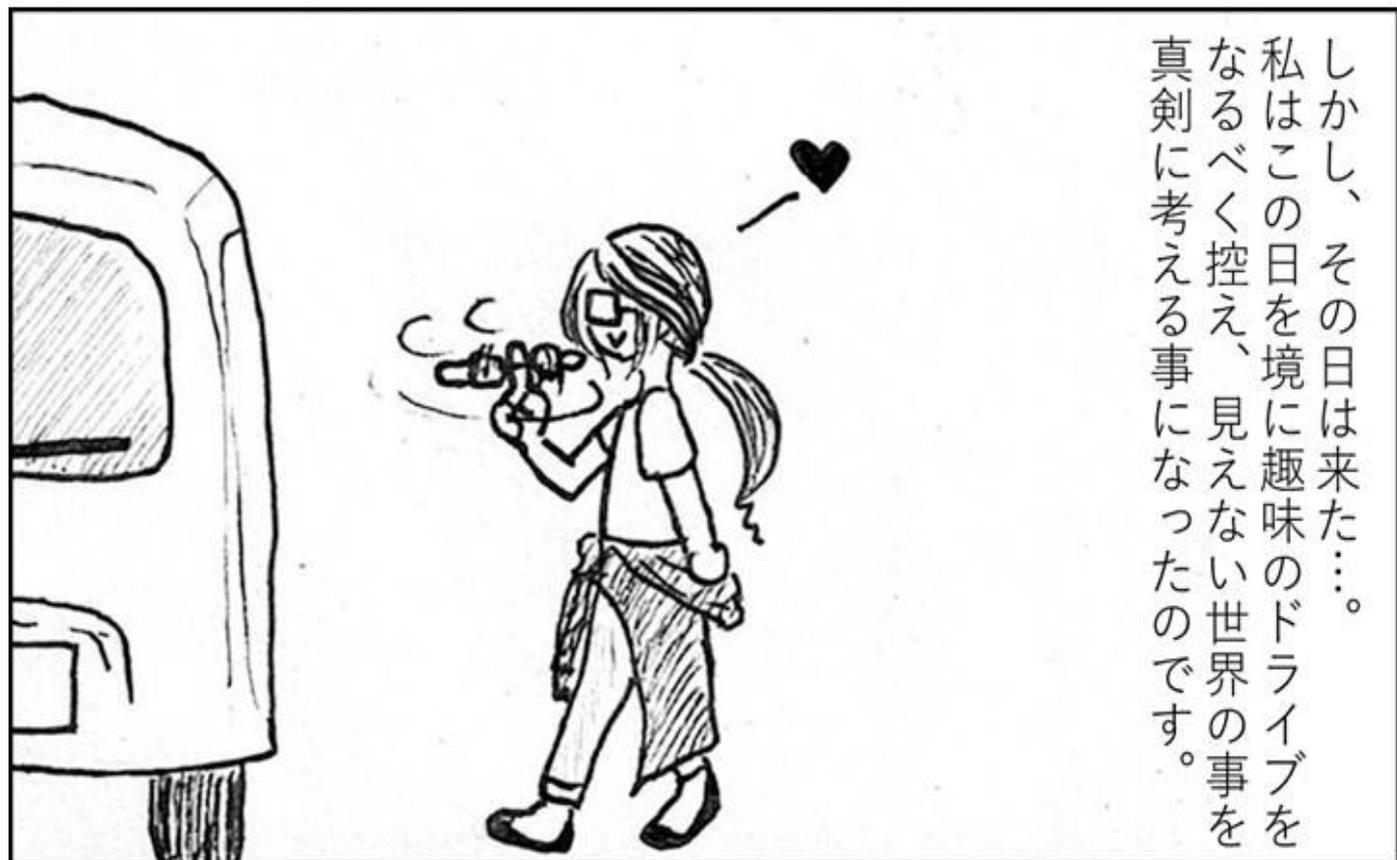
現実に生きるゾ!
(実際には無縁ではなかったが...)

何故なら忙しかった上に、
職場がごたついております、

部屋の掃除、したい...



心身共に
忙殺されていたからです。



しかし、その日は来た…。
私はこの日を境に興味のドライブを
なるべく控え、見えない世界の事を
真剣に考える事になったのです。



埼玉某所—

用事のついでにドライブに出た
私は、音楽をかけながら東京へ
向かってました。

この日はとてもよく晴れたいい
天気で、夏らしい景色を堪能して
ました。しかし…。

桜賀和の当時の唯一の趣味は、ドライブでした。

埼玉に住んでいたのですが、二時間、三時間の運転は苦ではなく、妹を乗せて日光に行ったり、祖父母を乗せてお買い物に行ったり、良い時間を過ごさせて頂きました。

車の運転中は嫌な事も忘れて色々な場所に行けるので凄く好きだったというのに……。まさか運転中に霊障に遭うとは……。夢にも思っていないませんでした。

この事件があつてからというもの：私は車の運転をしていません。大丈夫とは思っているのですが、車は走る凶器。万全を期して運転するもの。少々の不安があるようならば、公共の車を使った方が安全。そう思っております。

若干この後の事がトラウマにもなってますし……。

ちよつと短いですが、この続きをお楽しみください。

#真昼に開く 地獄の扉



運転中の強烈な霊障：。勝手に映像が目の前を塞ぎ、自分ではない感情が沸き上がり、制御できない。夏の真っ昼間なのに、だ。



前が見えない……！
熱くて苦しい……！
一体何が……！？
ゆ、夢……！？
白昼夢……！？

こんな事は
初めてだった。

3Dの夢なら可愛いモフモフとか、いい香りのする美女とかが良かった！（それはもはや3Dの域を超えてる）



今日のどこから夢だった……！？
ていうか今どこ走ってる……！？

しかし、
桜賀和はこの期に及んで、
アンチを爆発させていた……。

地名が分かってしまった方もおられるかもしれませんが、この土地が悪いということではなく、

師匠との出会いの時、師匠が引つかかっていたもの…。それと何かしらの低い波動が重なって起きた現象でした。

どんなに良い場所でも陰陽は必ずあります。（大きく陰陽が偏っている場所もありますが）

見え方は具体的にテレビを見るような感じではなく、頭の中に直接映し出されるような感じなので、外の景色は一応見えています。が、

脳がジャックされているような感じなので見えているようで理解できていません。とつても危険ですね…。

心の中も憎悪や孤独感、寂しさ、妬ましさなどの一つの思考ではない感情や念がとにかく沢山叫んでいるような感じで処理しきれませんでした。

夏の暑さとは違う、焼け焦げるような熱。喉がカラカラになり、ヒリつく熱さでした。

この漫画は白黒ですが、見えた景色は日がかなり落ちた影の世界だったのでまさに二コマ目のように見えました。

漫画にも描きましたが、どうせ3Dで現れるなら、もふもふの可愛い動物だとか、美しくいい香りがする美女が良かった。

と、友野に言ったら非常に怪訝な顔をされました。
見解の違いですね。

#吸引力が半端ない！

なんとか母宅へたどり着いたのですが、一步も動けない上に、あまりの状態に師匠、友野高広に連絡をしました。母と妹曰く部屋に私が入ってきた瞬間に燃えるように部屋が暑く
なったそうです。

分かりました...
では遠隔で除霊を
試みてみます。
しかし、
そちらも
レイキで
結界を...

これは...

ただの霊障じゃない...!
果たしてどこまでできるか...

師匠友野には、電話を取る前から
状態が分かっていたようです。

企業秘密ですが、
師匠友野があればこれやを
遠隔で除霊し始めて数分後...

サー...

何だか熱さが引いてきた気が...?
何か雨のようなものが降ってる
気がするし、頭の上が
引っ張られている感じがする...?

その熱さが引いていくと同時に、
何かが吸い取られるように離れ
ていきました。

スポンッ!



凄く
スツキリした。
レイキ凄い!
タカさん凄い!

ス
ン
ッ

でも、氣のせいかも
しれないな。



嘘でしょー!??

しかし、
桜賀和はこの期に及んで、
まだアンチを爆発させてい
た…。

幽霊ぐらいならどうという事は無いのですが、上に行くほど大変になり、命をかけるほどのもの…、

絶対に手を出してはいけないもの…と様々なバージョンがあります。

天国や地獄、上や下、光や闇など色々な言い方がありますが、

それらには上限や再現はなく、どこまでも続いています。

師匠はうっすらと、この時から何を相手をしているのか分かっていったようですが、

基本的にありえない事なのでその可能性を最後まで排除していたようです…。

そして私はこの漫画でかなり鈍いとお感じかと思いますが、この鈍さがまだまだ続きます。

何を言っているか分からないかもしれませんが、「霊視経営コンサルタント」を名乗った後もまだ鈍く、

自身に靈感や霊障がある事を認識しない状態が続きます(笑)

靈感とは、自分の直感や感じたもの見えたモノを信じる事、自分の事を信じることによって、強く、ハッキリとしてくるもの。

全人類に備わっている霊性・靈感をもし、強めたい、磨きたいと思うのであれば、現実を向上させることに努めた上で、自分を信じる事。

私は友野の元で仕事をしながらそれを痛感しました。

それを実体験し、理解するのはこの頃よりもっと後の事でした。

一章のあとがき

私が当時求めていた未来は、見える世界でも見えない世界でもいいから、自分の状態が自分が納得できる形でハッキリする事。

そして、ハッキリした結果、ちゃんとした対処ができるようになり、ちゃんと人生を進めることができるようになる。

でした。精神科は決まった手順と診察方法なのでそれはもうバッチリと二万円の結果が出ました。（発達障害のテスト単体が確かこのぐらいの金額でした。他にも諸々お金はかかった気がします。）

ADHD（注意欠陥・多動性障害）とASD（自閉症スペクトラム）

どうりで幼稚園という社会性が必要になる頃から牢獄へぶち込まれたような感覚になっていたわけです。

幼稚園児にして、

「友達（？）と遊ぶってどういう事？何で遊ばなきゃならないの？一人でいいじゃん」

（友達が何する存在なのかも何もメリットを感じていない）

と思い、一人で動き回ってました。そして、突拍子もない行動と言動の毎日……。 （多分）

幼稚園の先生に縄跳びで椅子にくくりつけられた事もあります。

それも皆の前、先生が立つ場所に……。江戸の罪人か（笑）大人は怖かったのかな？と思います。

で、年齢ごとに自分なりの処世術を都度工夫して頑張っていました。ADHDとASDなので、

“普通分かってるよね？”という「暗黙の了解」「空気を読む」前提だと根本的なそこが理解できなないので、

初めから取り違えていて：噛み合わないままお互い理解したと思って時間が少し経つと、また同じことを繰り返す。

（理屈が分かってないから）私は同じ事だと思っています。

「また新しい問題が起こっちゃったな…。どうしてだろうか？」

が、社会は違います。また同じミスを繰り返しましたね。という事になり、社会人になってからは仕事が長く続かない。

私は何故どんどん追い詰められて居場所が無くなり、辞めざるを得ない状況になるのか分からない。

こんなにやる気も頑張る気もあるのに…。

発達障害があると分かって少しホッとした気持ちもありました。

ただ“ダメな人間”だったのではなく、脳の構造だった。

人と少し違うのだと理解できただけでも、暗闇から抜け出した気がしました。

でも、じゃあどうする？

私は特に耳からの情報が弱いと診断が出ました。誰かが私にくれる情報を理路整然と完結に、

目的から緻密に教えてくれれば良いですが…。

『そんな親切な会社や上司って…どこにいるの？…自分が社長になるしかなくない？経験ないけど…（汗）』

と、悶々としてしまいました。

そして、もう一つ問題が。

でもそのもう一つは…自分でも何と言っているか分からないものでした。

これはもう言語とか理屈とかを越えた部分で自分の心の底から、

「今、絶対にこの問題を解決しなければならぬ。誰か分かる人に判断してもらおう他ない。でないとは大変な事になる。上手く行く事も上手くいかない」

と、沸き上がって来て、絶対に今、行動しないとイケない。そう思いました。

変な事は昔からありました。実はその変な事がある度に家族には最初の方は話していました。というのも、

実は、私の父はいわゆる“見える”人間でした。

やはり親ですし、信頼はある程度してます。

それに、父からはよく子守唄か絵本を読み聞かせるように自身が体験した怖い話を毎日のように聞いていました。

話しが上手だったんです。子供心にまるで冒険をしているような気持ちになり、心躍らせて聞いていたものです。

だから、信頼して話していました。

「やっぱりそういうのって遺伝するんだね！」

良くそういう話しを聞きますね。確かにそうかもしれませぬ。父の家系は見えてるような人ちら

ほらいたので。

しかし、友野に会ったから分かりますが、「靈感がある」と「霊能者」は天と地ほど違います。

なので…。分かってくれると思って家族に話していたことが、実は大きな落とし穴だったので。本当の霊能者は、光だけでなく、闇の恐さをちゃんと知っています。

人間のしているいい分別、立ち入って良い線引きが分かっている。

そして、見えない世界が見える世界に大きな影響を与えているのが分かっているので、地に足ついた社会的な常識もあります。

ですから、私たちのように大々的に「霊視」と冠を付けてうたっていないなくても、普通のご職業でも「霊能者」の方は実は沢山います。

今のプロとしての私が過去の父を分析してみると、父は見えているけれど、

その能力をどう生かしているのか本当には分かっておらず、見えない世界を軽く見て、

簡単に干渉しているような状態でした。

産まれた時からその「見えない世界も見える世界」で生きてきたらそうなるのも無理はありません。

周りに理解できそうな人間も残念ながら見当たりませんでした。

本当ならその力を使って世の為人の為になる事ができたでしょうし、自分の人生を良くする事も出来ましたが、

彼はそうしませんでした。闇の方ばかり見ていたからです。偏りがあった。個人的主観も入っていた。

なので、見える人でも私に対して“霊能者”としての“霊視”はできなかつたのです。

私は見える人⇨霊能者だとばかり思っていたので、

「父が私に対して何も言わないなら私は普通なのだろう」

そう信じて見えない世界に関して何もしてきませんでした。まさかの落とし穴です。

そして、そう信じて三十年。抗いがたい沸き上がる

「今、何とかしなければならぬ！見える世界、見えない世界同時に！」

という思いから行動しました。これは私の靈感であり、直感であり、守護霊からのメッセージでありました。

産まれて初めて、自分の根拠のない直感（靈感）に従った瞬間でした。

友野に会って、理解と納得ができ、そして

「こんな霊能者として力のある人で、常識があり、まっとうな人がいるとは！！！」

と、自分の人生が紐解けた事とその事に感動をし…。

さて、

どうする？

だからどうする？

紐解けただけじゃどうしようもないです。現状「知れた」というだけで解決はしてません。

友野にエネルギーワークをした方が良いとは言われましたが何だか絶対やりたくない気もしている…。

それに…。この期に及んでまだ見えない世界を信じられない！（いい加減にしろ）

だからでしょうね…。もしかしたらあえて起こった霊障だったのかもしれない。

車の運転中に前が良く見えないほどの霊障が起こるなんて事があるなんて…。

正直、驚くし、苦しいし、信じられないし、パニックです。

変な事は今までもありましたが、こんな超危険な状態での妙な事は初めてで、車を路肩に停めて

暫く思考停止してました。

「え？何今の？」

を、何十回も頭の中でループしてました。今まで氣のせいだろうと、何があってもものらりくらりしてたのが…、
こんな逃げられない状態で起こってしまうと、

「やはり何か超常的なものが起きている。そしてこの身に起き続けている」
と思いましたが、

「解決するまでこれが続いてしまう」

と、直感しました。私は唯一、車でドライブするのが好きで、癒しの時間でした。

それがこんな形で奪われるなんて思いもありませんでした。これが続く限り車の運転はしてはいけない…。

だったら見たこともないし、関わった事もないのに、凄く嫌いだけど、エネルギーワークを受けようか…？と、考え始めました。

しかしとにかく、未だ妙な感覚がするので家に戻るより、母の家に行ったほうが近く、そこで緊急避難させてもらう事にしました。

母が機転をきかせて友野に連絡を取り、母が現地でレイキを使い、遠隔で友野が除霊をするというトンでもない事になってしまい(笑)

結果、レイキと遠隔除霊の効果をその場で体験会してしまっただけでした。その時の光景は今でも思い出しますが、

まるで、光の雨が降ってきたかのような感じで、周りが静かになっていき、ゴウゴウと燃えていた部屋と私の周りがどんどん鎮火していくような感じ。

それが肌で分かりました。氣のせいではなく、体が軽くなっていきました。そして、頭が引っ張られる感じがして、スポンツと何かが抜け、違和感なく、いつも通りになりました。

「レイキ凄い」

「タカさん（友野） 凄い」

それで、レイキは意を決して受けておくか……。となったのです。

まだ見えない世界信じていないけど…（笑）

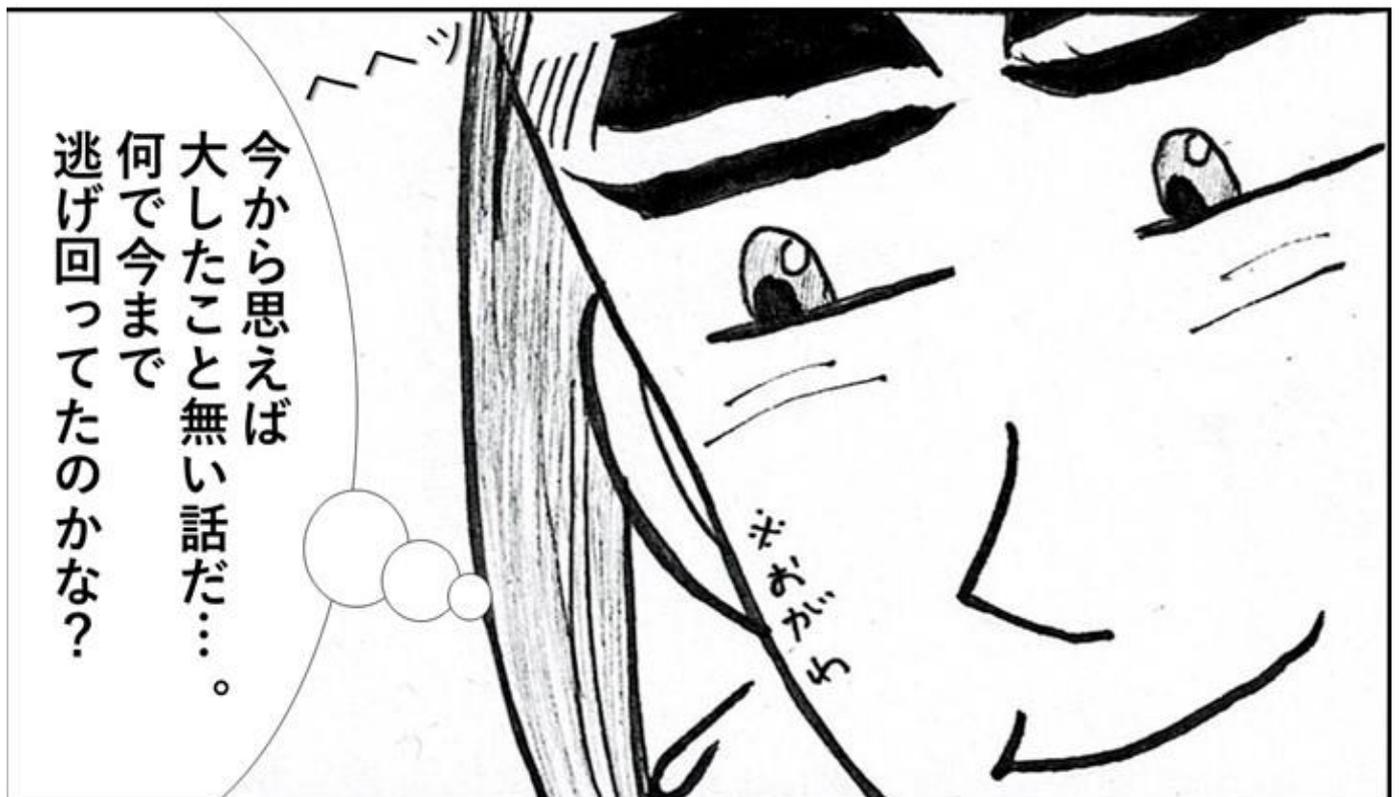
アンチもここまで来ると大したものだと思います。

第二章

「車の運転中」という、
最も覚醒している時に
意味不明な事が起き、
流石に霊障というのを信じる氣に
なった桜賀和は、師匠、友野から
強く促されていた
“レイキ”というエネルギーワークを
伝授してもらった事になった。
それは最後の大波であり、
三十年の地獄からの解放の
幕開けでもあった。



靈障をやっつけろ！



レイキは気持ちよくて寝てしま
う人もいるみたいだし、
身をゆだねてみよう！



※母がレイキテイーチャーで
伝授をしてくれることに。

レイキを習得すれば、霊障から
今後解放される…はず…!!
宜しくマママン…!!

第一段階終了…

体が…
動かない…
だるくて…
座つて
られない…
死にそう…

何故!?



第一段階から死ぬほど辛い
事態に…。残りあと4段階。

※霊障があった為このようになってい
ます。レイキは心地よいものです。

基本的に人間がレイキを受けて具合が悪くなることはありません。

光のシャワーを浴びるような心地よさがあります。

現に今私はどんなにレイキを浴びてもなんともありません。

闇側の住人にとっては大変居心地の悪いもの、それがレイキです。

私の中にいたのは闇側のものだったので、レイキが通った瞬間大変苦しんだようです。

で、私も同様苦しくなってしまったと…。

効果は絶大です(笑)

しかし…本当に苦しい数時間でした…。

こんなの何回もできないと思い、一日で一氣に強行突破で伝授して頂きました。
伝授している方が心配そうでしたが…。

レイキを伝授してもらい、大正解でした。

これが後の私の運命を変えたのでした。

#本当に大丈夫…？





普通の霊障であれば、第一段階をやる前から察しており、場合によっては離れてしまいます。それより強くても、第一段階が終わる前には逃げています。

レイキのエネルギーは天界のエネルギーを直接体に流し込んでいるようなものなので、そのままいられるわけがないのです…。

が、

私の場合はかなり強いものだったので最後まで居座り…。

そして、レイキに包まれて出れなくなってしまったようです。

まさかこれが後々、身体的に大変な事になるとは、この時は微塵も思っていまませんでした。

むしろ、「もうこれで霊障が無くなる…のか？」とか、

考えていたのでした…(笑)

#井戸の夢

※微ホラー注意

レイキの伝授を受けて約3ヶ月後の1月。レイキを信じていなかった桜賀和は偶然、胸に手を当てて寝ました。

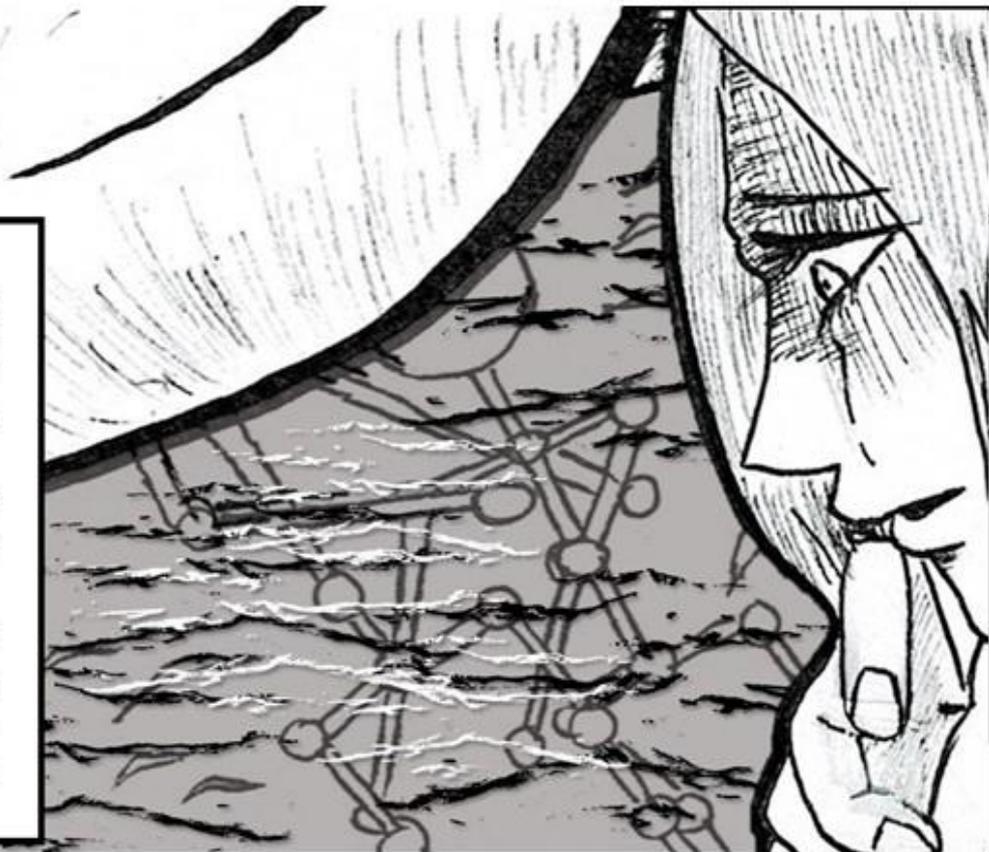


「自分を癒す方法」としてレイキにはこのような手法があるのですが、知らずにやった所、その晩夢を見ました。

夢の中で私は、荒廃した世界の暗くて荒れている家に何人かで済んでいるようでした。そして、家の中に何故か井戸が。

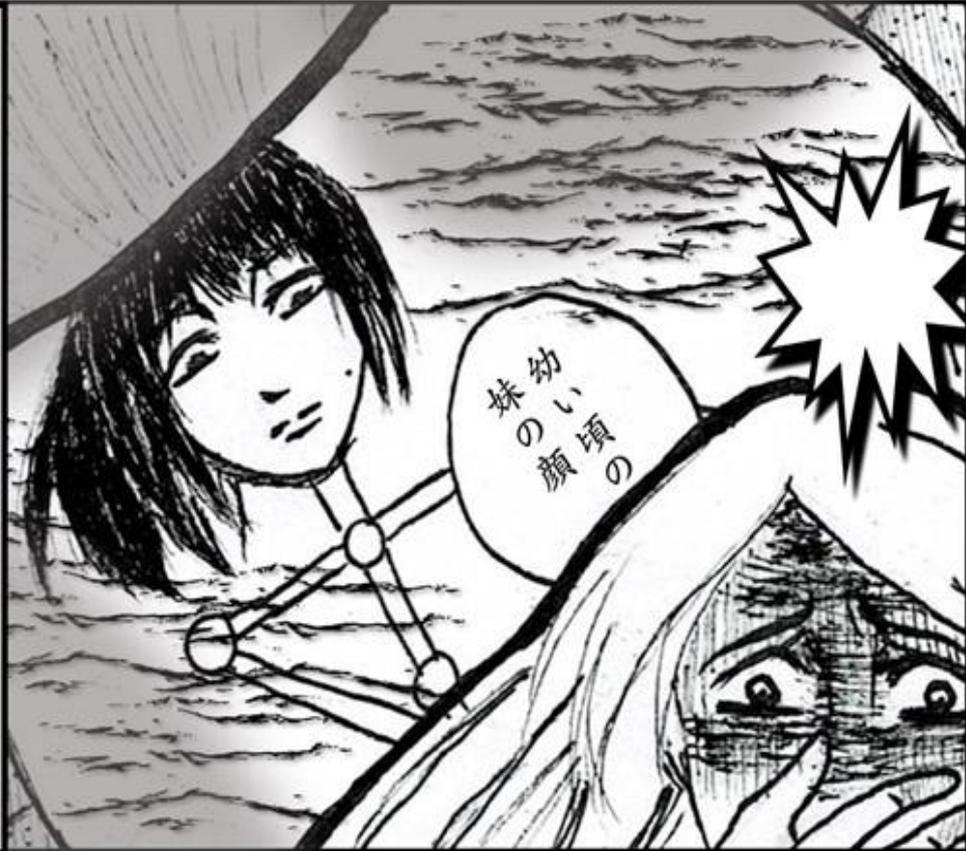
カリカリカリカリ

あまりにも不気味な井戸。更には中から引く掻く音が…。私と母も居たのですが、井戸の蓋を開けてみる事にしました。



井戸の中はとても薄暗く、怪しく光って
いました。「汚い。気持ち悪い」という
印象でした。が、更に井戸の奥から何か
棒状の無機物がたゆたってきました。

人型のように、2体あるよ
うに見え、私は氣味が悪い
のに目が離せませんでした。



水の動きに合わせて動いていた人型。
それがゆっくり下がってきて、とうとう
頭が見えました。
パネルのようなリアルな人の顔。
3、4歳頃の妹の顔。そして……。

中学頃の自分の虚無の顔が、
そこにあったのです。

ご安心ください。これはコレ以上恐いお話しにはなりません。
私の前世からのトラウマが解消されるお話しです。

レイキには時間をさかのぼったり、癒したり…。色々な使い道があります。

その内の、「前世のトラウマを癒す」というのができたようです。

お腹に手を当てるだけでこういった夢をみたのですが、本当にこの夢には救われました。

ただ、万人にこのような事が必ず起きるわけではなく、私にはレイキの最善の結果として夢で
みせて貰えた、

という形だったようです。不思議なものです。

井戸の中の中学の頃の顔なのですが、

妹曰く「そっくり」

友野曰く「これ世に出していいの…？」

見た方に影響がないようにと色々怖い部分は緩和して描こうとは思っているのですが、あまりに緩和してしまうと伝わるものが伝わらないと思い、そこそ似せて描いています。

この顔を今から見ると、どんな中学時代だったのか：良く分かります。

#闇の中のクマ

正直かなり気持ち悪く、ドン引きだった。ただでさえ自分の顔なんて写真でも見たくないって言うのに……。しかし、夢の中の母は、

ドン引き

大変！
依代（よりしろ）
を作らなきゃー！

は？

と、言い出した…。

※依代（ヨリシロ）…神のよりつく物をいう。神霊が降臨して、その意志を伝えるためには憑依（ひょうい）体が必要とするとの信仰に基づく。依代が人間である場合を尸童（よりまし）という。

私たちは発泡スチロールのようなもので手づくりの人形（依代）を作った。

まあ…。
こんなもんでいいか…。

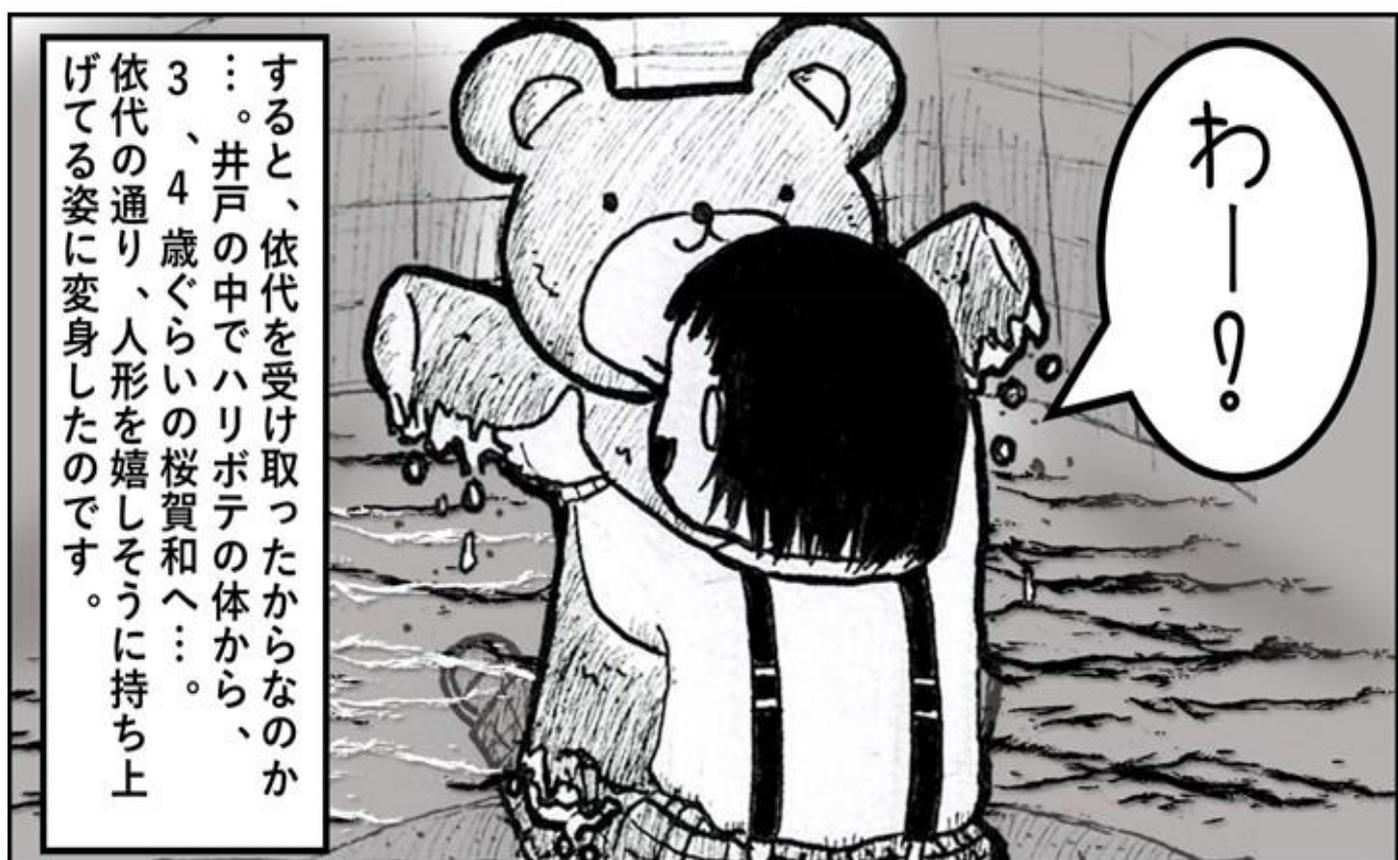
ボロッ

可愛い
キッシュ

拡大

ええい！
もう私のをあげる！

そんなの絶対ダメ！
もっとちゃんと作らないと！



レイキを受けて三か月後、信じていない状態でたまたま胸に手を乗せて寝たところ、このような現象が起きました。まるで、不思議の国のアリスのように不可思議なお話ですよ
ね…。

ぼろ屋の中に井戸があって、薄暗い中にホラーのように昔の自分の写真のような顔がついた、棒状の人形が流れてきて…。正直本当に不気味でした。昔の自分の顔なのに(笑)

そして、母が突然依代を作ろうと言い出し、小さな私に可愛いクマのぬいぐるみなんか持たせた小さな人形を作り、

井戸のハリボテの私に渡したところ、。依代の人形と同じぐらいの年齢、姿、クマのぬいぐるみを貰って喜んでいる、

依代の通り、そのままの小さな私が現れたのです。

井戸の中に急に陸地ができたようになったので、そこに腰かけているようでした。

相変わらず井戸の中は真っ暗でしたが、小さな私に対してコワイという感情はもう無かったです。

とにかく、井戸の中の小さな私は大きなクマを貰ってとても、とても喜んでいるのが分かりました。

本当に嬉しそうです。

この暗い井戸の中、二、三歳ぐらいの私は一人静かに過ごしていて、一体、何を考えていたのか？

想像に難くないです。

まるで、初めて温かいものを貰ったかのように喜んでいました。

#消えたモノ。 増えたモノ。

その姿を見た瞬間に、思考を通り越して、勝手に口が動いてしまった。

もういいんだよ！
上に行きなな！！

涙も勝手に出て来るし、自分でも意味が分からなかった。

すると、井戸の中の小さな私は笑いを引っ込めて、泣き出しました。そのとたん、光が井戸にさし、包まれた。

うわああああ

夢から覚めると私は現実でも涙が止まらず、しばらく呆然としていました。

私はその夢を見た時から、これまでぬいぐるみに執着していたのが、嘘のように無くなったのです。前世からの魂の傷が癒された瞬間でした。ずっとあった原因不明の不安や恐怖からも解放されたのでした。



ありがとね。

さすがの私も見えない世界を信じるキツカケとなりました。

ところでその後、私は師匠に会い、ちょっとずつガチャガチャで犬のフィギュアを見つけてはガチャをして増やしています。果たして、本当に傷は癒えたのだろうか...?それは、神のみぞ知る...?



また犬がパソコン周りに増えてるー!!

あー！
また増えてるー！



君に決めた。

五

レイキは天上界のエネルギー。色々な事が起きて不思議ではありません。個人差もかなりあるのが特徴です。

その人にとって、最適なものだけが引き寄せられ、叶えられていき、不要なものは離れていく…。

私はまず前世からこさえ続けていた魂の傷の癒しから始まったようです。とても生きやすくなりました。

私の前世の記憶はかなりの数あるのですが、子供で過酷な人生を生き、そして子供のまま死んでいく、
というものがとても多かったです。

なので、自分にそういう前世があると自覚する前から

大人になれるのか？

社会が自分を受け入れてくれないのではないか？

人の営みを堂々と送っていいのだろうか？

大人と同じ振舞をして良いのだろうか？

など、様々な不安と恐怖で一杯でした。これには勿論、発達障害や家庭環境によるものなども含まれて

いるとは思いますが、前世が絡んでいることも事実でした。

この夢を見てから、異常なほどの人形への執着というのは、本当に信じられないほどなくなり
ました。

今売られている人形を見ても、昔のような沸き上がるような買いたい衝動は一切湧いてきませ
ん。

不思議なものです。とても生きやすくなりました。

しかし、まだ大きな問題が私には残っていました…。

#靈障で アバラが折れた日

母は引越してから
「鎌倉散歩」というイベント
をしてました。

自分はそれに参加したくあり
ませんでした。(今から言えば、
神聖な場所に行きたくない、という事
だったのだと思います)

む…。
やはり宇宙人…。

しかし、ひよんなことから行く事になってしま
まい、そしてそこに師匠も行く事になってま
した。師匠自身も振り返って、「どうして行
くと決めたか分からない」と漏らしています。

順調に神社やお寺を周っていたのです
が、あるお寺で異変が起きました。

あッ!?
あー!!!

ワシが被ってやる。
(と、思ってたかも)

ためー!

そして何で私ここに
いるんだろ?

ん?
なんだこれ?

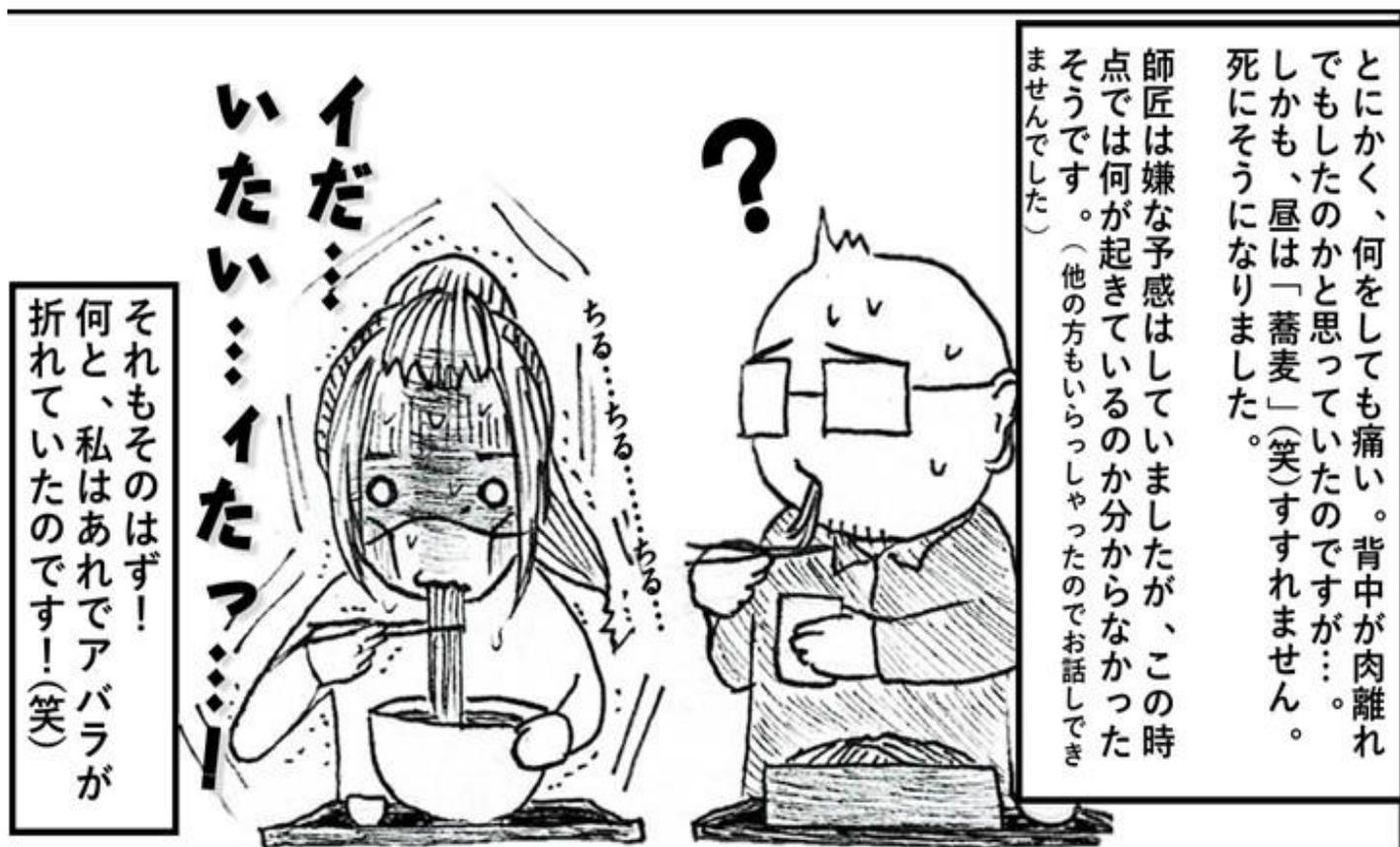
と、1人別行動をし、何となく向き合
ったもの。それは、不動明王様でした。
向き合って暫くしてからお不動様と認識
したのですが、その瞬間…



とんでもない激痛が、左上半身を襲いました。

アレ? 何であんたワシの力で祓えんの? 人間?
(と思ってたかもしれない)

あー! 遅かったー!



それもそのはず! 何と、私はあれでアバラが折れていたので! (笑)

とにかく、何をしても痛い。背中が肉離れでもしたのかと思っていたのですが...。しかも、昼は「蕎麦」(笑)すすれません。死にそうになりました。

師匠は嫌な予感はしていましたが、この時点では何が起きているのかわからなかったそうです。(他の方もいらっしやったのでお話しできませんでした)

イだ... いたい... いたマ...

?

前回少し見えない世界を信じるようになったと言いましたが、ミリ単位の話しで、ほぼ信じていません。

なので、この時点でも背中が肉離れした…。とっています。

お辞儀をしただけで(笑)

私も無理に平気な顔をしたりしていたので、誰にも気づかれなかったのですが…。

実はこの日にも続きがありました、この夜も大変だったのです…。

インフルエンザもマイコプラズマも辛かったですが、

アバラも本当に辛かったです！

呼吸は浅くしかできず、寝返りなんて以ての外!! 部屋が二階だったので、

決死の思いで一階のトイレへ行っていました。前世記憶で苦手としていた酸素が薄い状態が長く続き、

気が狂いそうなのも戦ってました…。(そういう状態で死んだ前世があるため)

霊障でアバラが折れるなんて：中々どしうして、びっくりでした。

師匠、決断する！

この日再び霊視鑑定をする予定だったので、鎌倉散歩の後師匠友野と落ち合いました。

だ、大丈夫？

おねがい
します……

この時氣づいてないけれど、アバラが折れながらの鑑定だ！(笑) 氣づいてないからそのままだ！(笑)

本当は仕事の話しでの鑑定だったので、同時に、前回の鑑定から怪しんでいたものをもう一度深く見ていた師匠に変化が……

いや、そんなバカな
ちよっと待って

ズンズン……？

百面相

まさか
いや……
ウンでしょ……？
どうして……

今も結構あるのですが、私を見ず、挟まず、大きな独り言を言っていました。現在私はこれを「一人で楽しんでいる」と言っています。

?

もうこんな時間ですが……。被ってみたいと思います。できると思いますが……。過程の中の事は予測ができません。……私に任せて頂いて良いでしょうか？



時間はすでに夕刻をとうに過ぎていました。私の中には怨霊以上のモノだったので、そんな時間に被うなど、今から思えば自殺行為。正直死んでもおかしくありませんでした。

しかし「一刻の猶予も無い」と、守護霊などに頼まれたこともあり、師匠は決意してくださったのでした。

霊視視点



結果、凄いのが
丑寅の方へ出て
行きました。

分かつちやいたけど
アカンやつや……

私には近すぎてお不動様の腕と炎の
ようなものだけが見えました。

これと
三十年間
一緒に……

お不動様のようなと書きましたが、お不動様では勿論ありません。

鑑定自体はずいぶん前から予約をしていたのですが、まさかアバラが折れた日とブッキングするとは思ってもみませんでした(笑)

しかしこれも、必然だったのでしょう。私は仕事の話しをしたかったのですが、前回師匠が怪しんでいたものをもっと深くみる流れとなり、
巧妙に隠れていたものがレイキによって見えるようになったようでした。

私の中にいたものは、人の霊や低級なものなどではなく、怨霊よりも上のモノ。それを日が落ちた後に祓おうなど、

本来なら死んでしまうか、祓ったとしてもその霊能者は後日ただでは済みません。色々な奇跡により私は綺麗に祓われ、

師匠も無事生き延びることができました。

出て行ったものを後から考えると、とんでもないものが出て行くのが見えてしまい、その力も肌で感じてしまったので呆然としてしまいました。

こういったものが世にはいるとは思ってましたが……。まさか自分から出て来るとは……。

しかも三十年間一緒にいたとは……(笑)

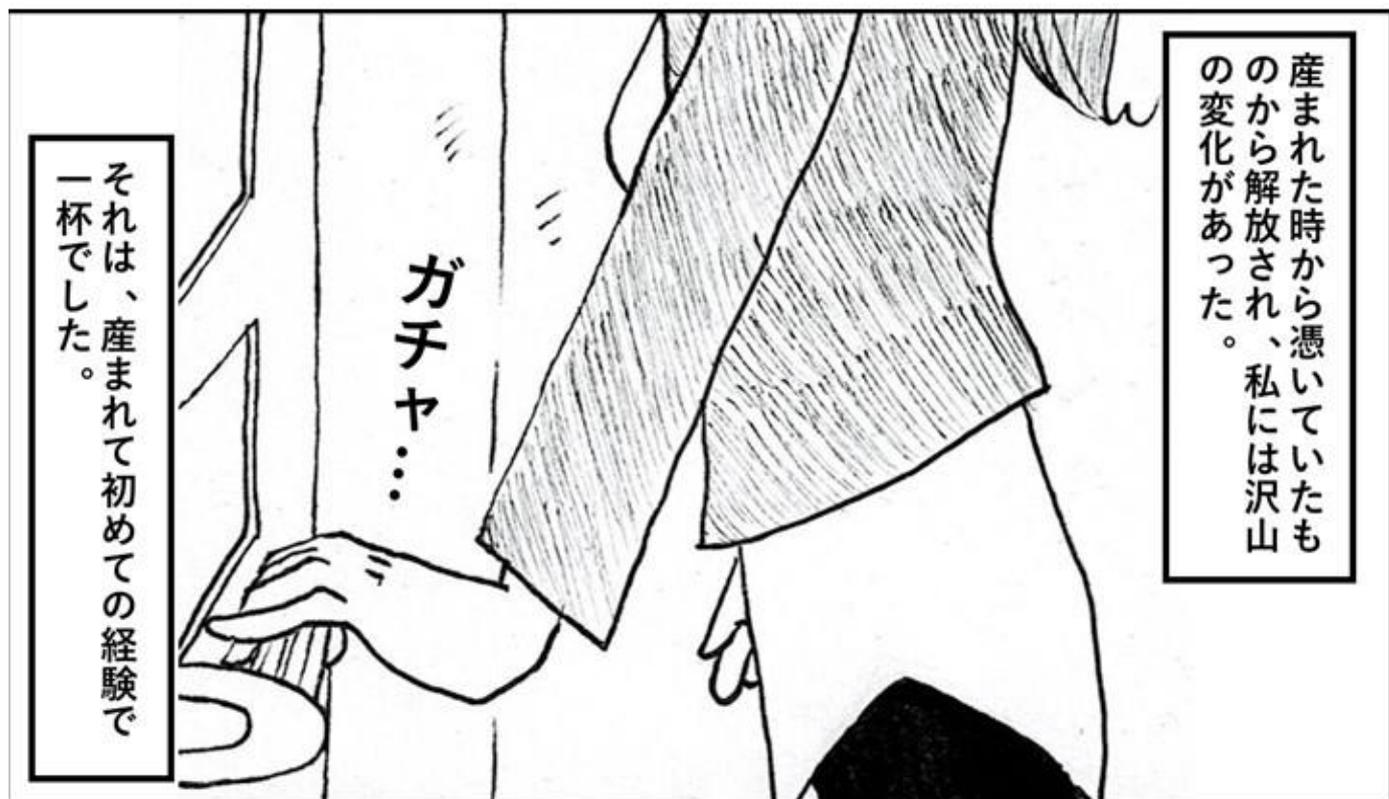
下手したら夫婦より長い間一緒に居たことに……。

死の予感を乗り越えて祓ってくれた師匠には頭が上がりません……。

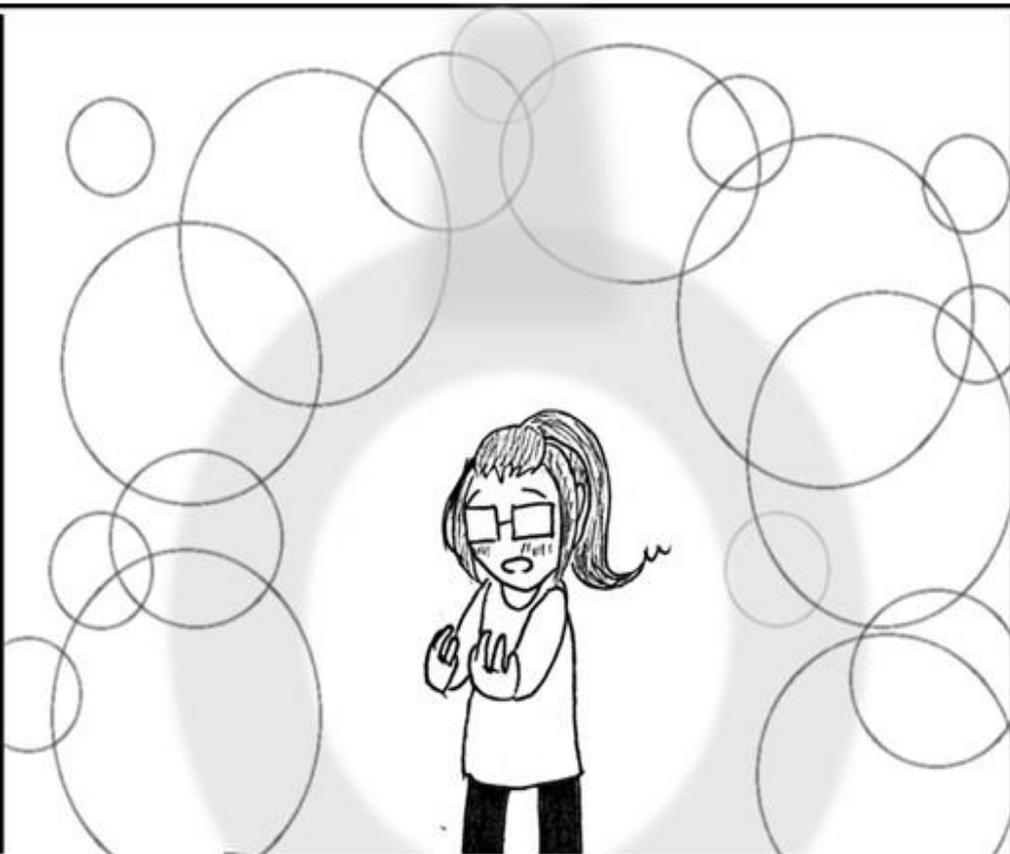
……かもしれない。(笑)

30年間の闇、 晴れた時

1/3



被いとレイキにより、暖かく分厚い毛布に包まれているかのような安心感。暗い気配は全く無い。軽い！



今まで常に付きまとっていた視線、不安感や恐怖感はなく、この世に認識されている感覚というのを感じました。

それから今までは学校が変わろうが、就職しようが、転職しようが：、どんなに愚痴や悪口など言わず、エネルギーを上げて出会う人を変えようと思っても、



怒り、憎しみ、嫉妬、妬み、悲しみ…。闇に溺れた人たちがばかりに遭ってました。中には、想像を絶する思考の持ち主もおりました。

30年間の闇、 晴れた時

2/3

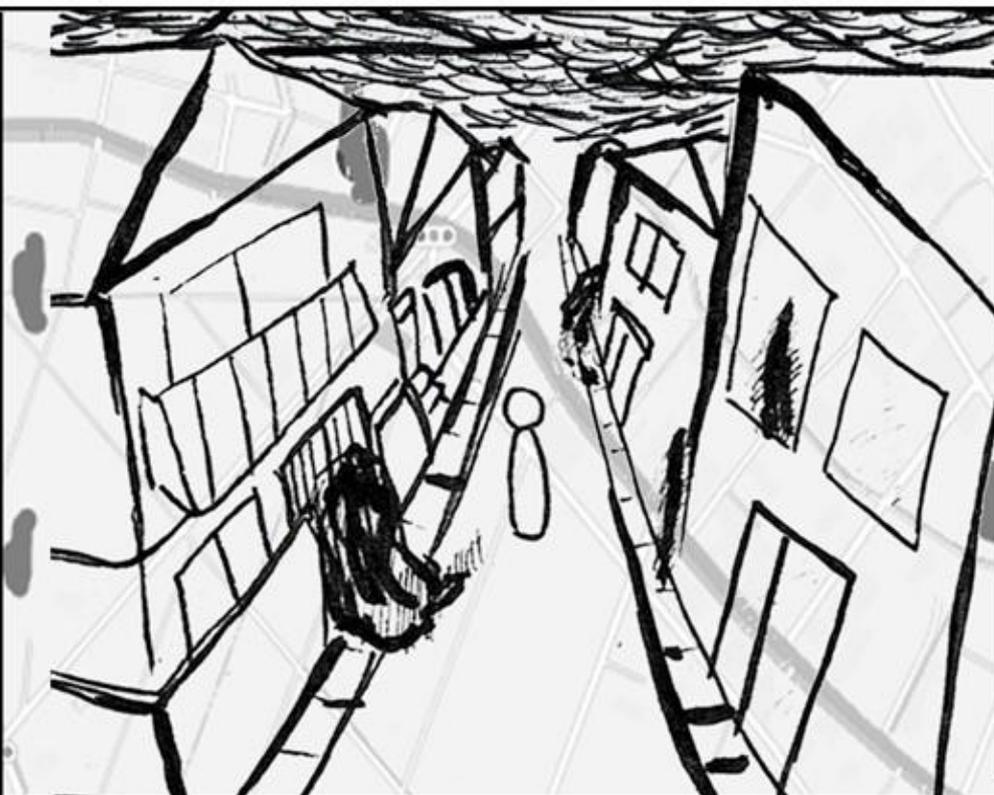
祓って、レイキを受け、友野と活動することになってから、人格的にも、エネルギー的にも素晴らしい方々に出会え始め、



目もキレイなのです...

始めは、「こんな人間がいるのか...? 幻か...?」と恐ろしく、慣れなかったのですが、今や前のような方々と、逆に遭わなくなりました。

そして以前までは...
外はいつも昼で明るいのに何だか嫌な感じを受け、日光がヒリついて眩しすぎる嫌な光に感じており、



何だか嫌な感じがする場所や家、あるいは何となく地図で嫌な感じがする場所が常にみえているような感覚でした。

それが被い、
護られた後は…

え
・
・
・
?



空が凄くキレイな青に感じ、
緑が鮮やかに見えました。
爽やかな風を感じます。
太陽の光を、煩わしく感じません。



30年間の闇、 晴れた時

3/3

草花を美しく感じ、誰も（人じゃないけれど）避けたり、沈黙するものはおらず、優しい気配を向けてくれました。



体に素直に、様々な自然の情報が入ってきます。今までの情報が間違っていたことに気がつきました。



時が動き出した感覚を、
猛烈に感じ出しました。

「世界」が私を取り巻いて、
生きている事を強烈に感じました。

世界が美しいのだと、
初めて知った瞬間でした。



自我が芽生えたのが、生後二週間から。

今から思えば、そこからずっと中のモノと同じ闇の中で動いていました。なので、この世界が普通なのだろうとがむしゃらに頑張っていました。

しかし、中のモノがいなくなり、レイキで体を護った後の生活は驚きの連続でした。正直、数年経っても、驚くことが沢山あります。

それほどまでに中のモノが出る前と後では別世界となってしまうました。文字通り、生れ変わったようです。

こんなにも世界が美しいものだとは知りませんでした。

こんなにも人がエネルギーに満ち溢れ、そして、

エネルギーが高い、素晴らしい人がこんなにもおられたとは…。

前はどう転んでも会えなかった、感じる事ができなかつたことでした。

全てが霊障のせいだとは勿論言いません。

調べて見たら発達障害も2つありましたし、仕事や性格に問題が全く無かったなんてことはありません。

しかし、振り向きたいのに振り向けなかったり、違う言葉を言いたかったのに意に反する言葉を言ってしまったり…。

霊障により人生が狂いまくっていたのは、確かかと思います。

(繰り返しになってしまいましたが、厳密に言うとは霊ではないので、霊障ではありません。霊よりも遥かに上の闇のモノだったので、人生が狂うほどの力を有していました)

今はその分、しっかりと毎日を送ろう。そう思っています。

しかし、前後でこんなに違うとは…。

打って響く世界に生きられることの幸せさ。

護られていることの幸せさ。

穏やかな日々…。

私はこの瞬間を、生涯忘れず感謝を持って生きたい。
そう思っています。

一章あとがき

どんなに仲の良い家族でも、友達でも、何十年もやってきた親友でも…、個人に起きている霊障を真に理解できる人はいないかと思えます。病氣もそうですよね。その苦しさってその人にしか絶対分からない。当事者にしか分からないものがあります。

しかし、霊障は見る人が見なければ分からない。

表に出ることは稀なので理解がとてもしにくいものだと思います。

そしてそれを、どんなに理解してあげたくてもできないご家族、友人の方、もうそれは半ば仕方がないかと思えます。

見えない世界というのは単純に一つの見えない世界という塊があるわけではなく、この世はまるで地層のように沢山の次元が実は重なり合っていて、

(という表現でいいのかわかりませんが、そんなイメージです)

私たち霊能者は低いものを見る時は低く、高いものを見る時は高く、波長を合わせて霊視しています。

「+1=2」という単純解ではないのです。

私と友野ですら本当に自分たちが苦しんだ霊障等を理解し合っているかと言われれば

答えは“ノー”だと思います。けれど、これ以上分かりあえる人はいません。というのに、“ノー”なんです。

なので、病氣と違って霊障って凄く難しいなと思っています。

今回友野は私の祓いをしていますが、基本的に私たちは「お祓い」というものをしておりません。

何故なら、実は：祓いは簡単だからです。お金を頂くまでもない。※一部を除き

というのと、基本的にその本人の思い癖や思考、行動を変えないと意味がない。

そういう点でやっていません。

よく仕事し終わった後とかに結構口について出ると思うのですが、

「疲れたあー」

というワード。疲れる“憑かれる”。エネルギーが下がると憑かれやすいです。

エネルギーが下がって憑かれるという事は、エネルギーが上がれば憑かれないのです。

普段から愚痴を言ったり、不平不満を言っていたり、怒ったり、寂しかったり、嫉妬深かったり、自分を憐れんでばかりいたり、怠けてたり…。

自分の事ばかりで他人なんてどうでもいい…。など、暗くなるようなものばかり、向上しないことばかりしているとエネルギーが下がります。下がると憑きやすい。

なので、祓ったところで普段の自分で生活してしまえばまた元通り憑かれます。

病氣と似ています。病院でちゃんとしていても普段通りの生活をするともまた同じような病氣になる

…。

それに簡単な霊とか念ぐらいなら、ちゃちゃっと肩とか埃を落とすかのように手で払って、（この時点で落ちますが）美味しいものでも食べて、動画か何か見て爆笑とかすればどっかいきます。

私の場合は霊ではないのでこの方法では無理でした。

本当にごくごく、ごく稀に：一人ではどうしようもない、専門家でないとどうにもならない障りというものがあります。滅多に無いです。

光が一筋も差し込んでこない、深い深い暗闇の海の底のような状態。

何をしてても世界の巡りの理の中に入れない。

それが、レイキを伝授してもらい、友野に本格的に祓って貰った時から…、

今まで感じたことのない暖かさ、光側の存在に認識されたような感覚がありました。温かく世界に迎え入れられたような感覚。これを何と表現していいのか分かりませんが、牢屋から出られたような感じでした。

それを友野に言うとニコニコしながら、

「よく頑張ったね」

「やっと通常の流れに戻ったね」

通常。

人は毎日こんな温かい中で過ごしているのか…。

それは、周りの人間関係がどうのというものではなく、大いなる存在達に見守られている感覚。それから、自分のエネルギーがちゃんと人として当たり前に発している温かさ。そういったもの

です。

ちよつとやそつとじゃ、人間は本来魂が輝いているので、変なものは近づけないはずです。変な事になる場合、自分から招き入れないとなります。

仕事をしていてと思いますが、守護霊さんはいつも私たちがこの地球で生を受ける事になった、共に約束した目的を忘れてはいません。

そして、あなたの事を本当に良く分かっています。

目に見えない存在たちも、面白い事をしている人、輝いてる人に敏感で、応援してくれます。

人の営みの中にいるならば…、何でもできます。

むしろ、自由にやった方がもっとエネルギーも強くなり、悪い影響など更に受けにくくなります。

目標を持って、有意義に、楽しみながら、自由に行動し続ける。

人生楽しんだもの勝ち。この一見不自由な世界でどれだけ自由に有意義に生きるか？
目指すところは苦労ではなく、そこだと心底思います。

第三章

桜賀和は

靈感ゼロだと思っていた

スピリチュアルアンチ女だったのに、

とうとう霊能者を名乗り、

師匠友野と

霊能を使いながらのコンサル

「霊視経営コンサルタント」を

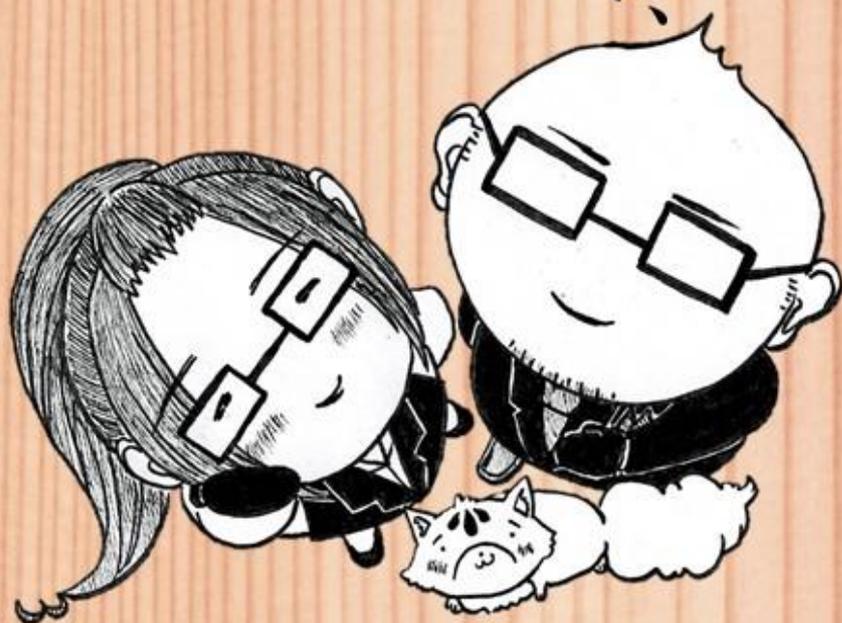
経営する事となってしまうた。

その感想はと言うと、

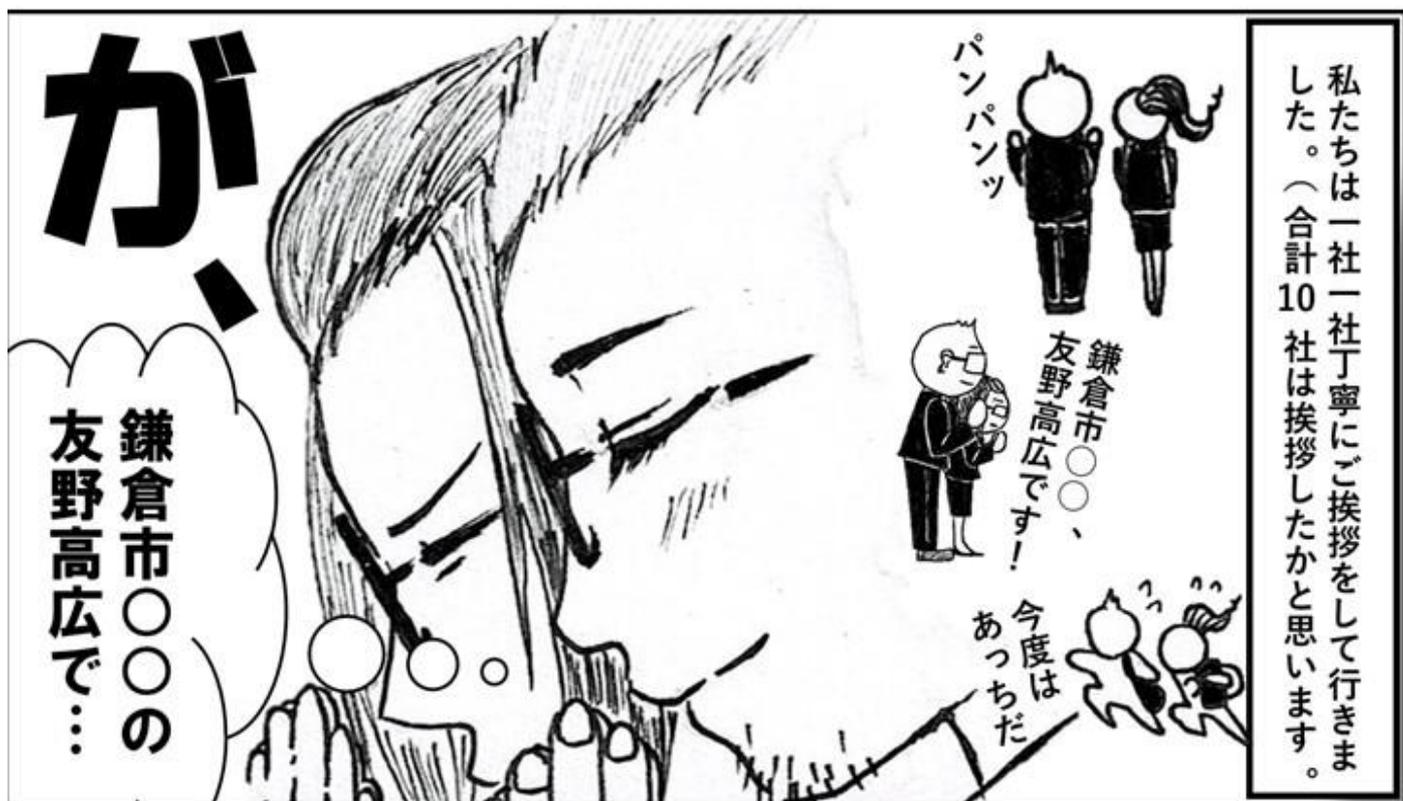
「たまに霊視の観点忘れる」

である。桜賀和は果たして、

一人前になれるのでしょうか……？



#友野、拒否される





桜賀和のは黙って聞いてくれる。
他の神社でも友野が言おうとすると

鎌倉市○○の友…

鎌倉市○○の桜賀和愛美
です。○○の神様いつも
ありがとうございます。
むにやむにや…

もう良い。
と言っただろうお主は。

ええッ!?

何故か、友野だけ辛口…(笑)
この後全ての神社がこんな感じでした。
どうやら神社間でお参りすることが
伝わっていたようです。



鎌倉で一緒に仕事をする、ということになり、私たちは霊視経営コンサルタントとして鎌倉の主要な神社の神様方にご挨拶に行く事に。

神社ではどこの誰かをお伝えし、宣言をさせて頂きます。私たちは生業が生業だけに、この鎌倉で仕事をさせて頂くにあたり、とにかく、鎌倉の神社一社一社丁寧に挨拶させて頂きました。（ご縁があり、主に挨拶が必要な合計十社は挨拶したかと思えます。）
が、

「もう良い。知っている」

友野だけ三社目にして神様からまさかの名乗り上げ拒否（笑）そんな事初めてだったそうで、大変驚いていました。

桜賀和の方はと言うと、黙って聞いてくれる。他の神社でも友野が言おうとすると…、

「もう良い。そう言っただろうお主は」

何故か、友野だけ…。

この後全ての神社が友野にこんな感じでした。どうやら神社間でお参りすることが伝わっていったようです。

神様って、凄いですね。やはり引越したり、新しく何かする時にはその土地を護ってください。っている氏神様やご縁のある神様にご挨拶するのは当然の事。

私たちは特に、仕事柄お世話になる事が大いに予想できましたので、まわらせて頂きました。

私たちの話しを神様方は「うんうん」と聞いて下さって、その宣言が成功するように力添えをしてくださいます。

(と言っても、必要必然の最善へ力添えをしてくださるイメージです。行動しなければ意味がないものになります)

私の隣で友野が腑に落ちない顔でブツブツ言っていました。

勿論、男性だから…というわけではないです。男性の皆様、ご安心ください。

女性にも極稀に友野のようにスパルタな扱いをされる方がおられたりします。いつも何だかちよつとスパルタです。

きつと、これからもっと成長すると期待してくださいるのでしよう。

（あれ？でもそしたら私は…）

#見えないモノの痕跡？

友野と私は、仕事を始めた当初：
能力の話して言い争った事がありました
と、いうか、私自身が能力をまだ分かつ
ていないが故の押し問答でした。



私は見えないし聞こえない！
見聞きできるものならとつくにしてる！

タカさんも頑なな私にプンプンだ。

見えてるし、聞こえてるって
言ってるじゃん！思い込んで
るだけだよ！

そんなこと言っていると
怒られるよ！？

誰にやねん

その時だった。



光の鳥が飛んで来て、壁にぶつ
かって霧散した。轟音と共に。



え？え？鳥？光った鳥が
壁にブツかって飛び散っ
た…ナニアレ…

ほら怒られちゃった！
私にも音は聞こえたよ！
見聞きできてるよ！

ガタガタ

壁にも
跡ない…

い、いやいや…痕跡ないし…

ウソでしょ!?

この期に及んで!?

色々な人(?)の苦労の上で、今の私が
あるのだと…感謝を述べたい…(笑)

友野と私は、仕事を始めた当初：能力の話しで言い争った事がありました。と、いうか、私自身が能力をまだ分かっていないが故の押し問答でした。

タカさんは私が見えて聞こえていると言い、私の守護霊さんも見聞きできてると言い、しかし私は実際に「これだっ！」というのを当時感じてないと思っていたので、

「見聞きできてると言うのは、タカさんのような感じの事を言うんだ！」

などと、言い争っている時に私の真横あたりから光る鳥がシューっと一瞬で通っていき、壁に凄いい音を立てて当たり、花火のように爆発して消えたのを見て思わず固まってしまいました。

「だからそんなこと言っていると怒られるって言ったのに…。 “いつまでそんな事言ってるんだ” って…。」

何だか納得できるようなできないようなでしたが、見てしまったし、タカさんも出来事がタカさんの背後だったので姿までは見てませんが、音は聞いたと言っているので間違いない。ということで、自分が見聞きできる人間だと納得せざるをえない。そんな事件でした。

これは私に限った事でも、スピリチュアルに限った事でもなく、誰にでもこういった思い込みはあるかと思えます。

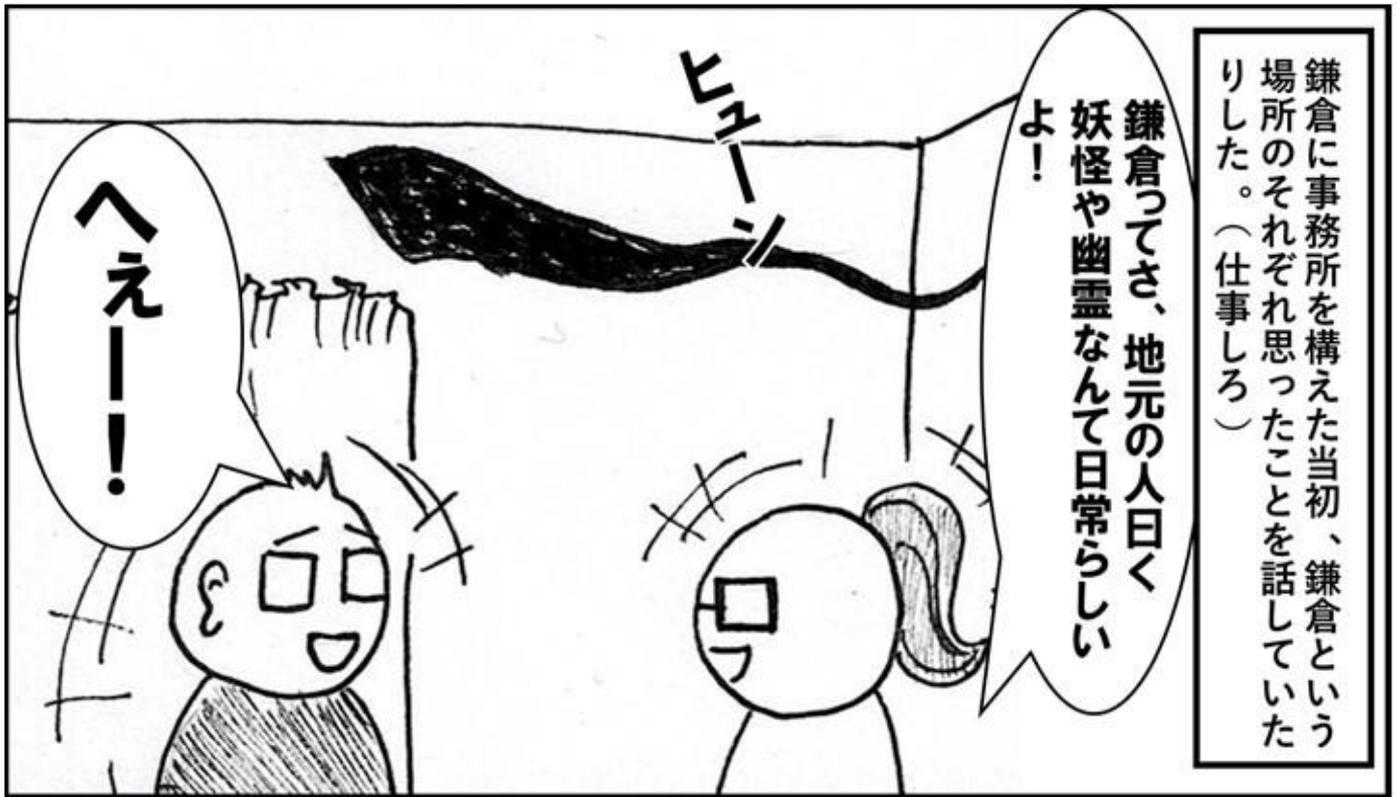
その概念を崩すのは大変な事です。

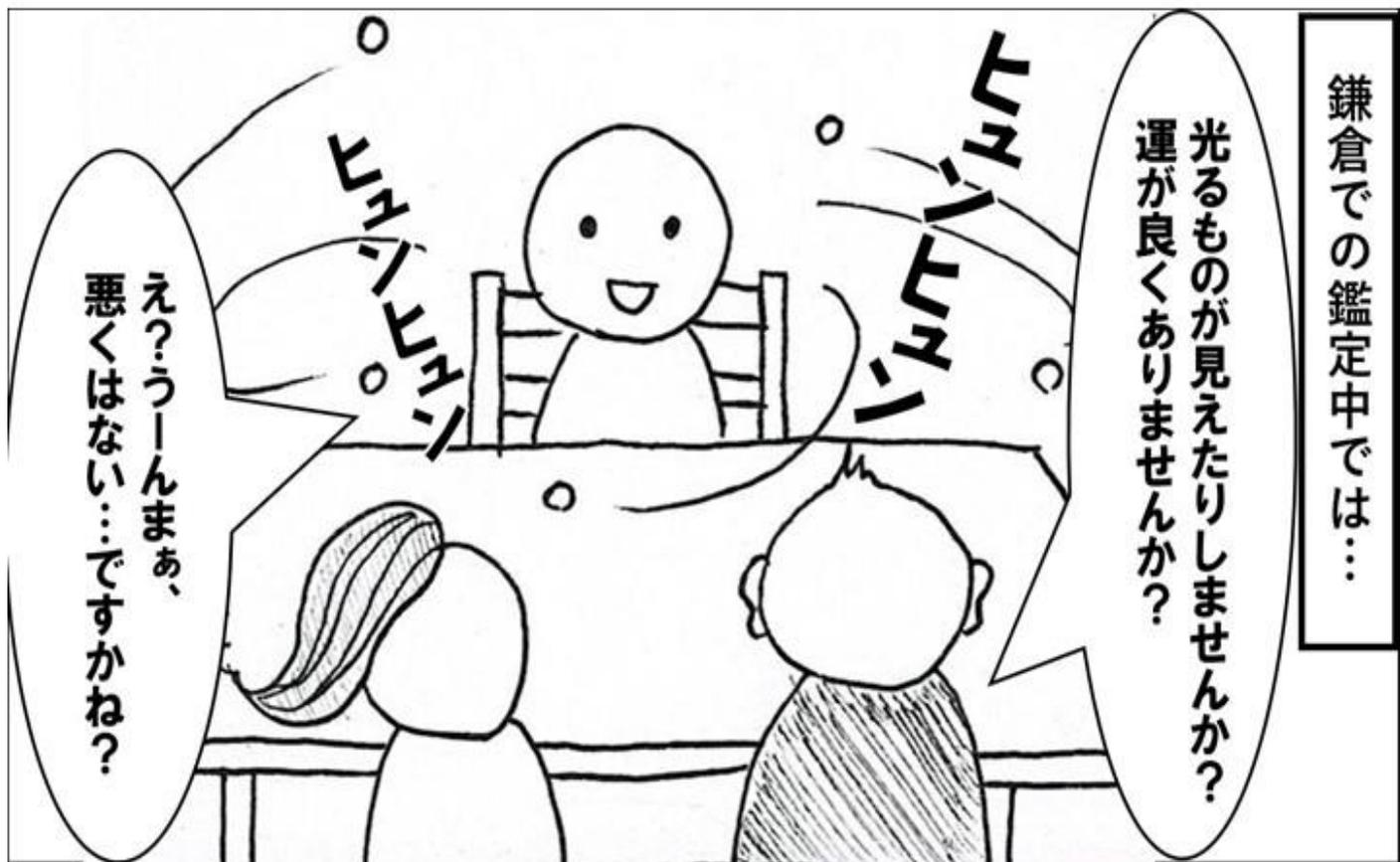
しかし、それを乗り越えた時に見える世界は、今までとは違うものとなり、新しい世界にいる自分の成長を感じるのです。

私もまだまだな部分がありますが、この事件は腹を割ってタカさんと話したから起きたことであり、

一つ成長できたのだなあと思う出来事でした。

#いる！！





鎌倉に事務所を構えた当初、鎌倉という場所のそれぞれ思ったことを話していたりしていました。

鎌倉、こと北鎌倉では幽霊や妖怪などの生身の人間以外のものが居ることなど普通なのだ、生まれも育ちも鎌倉の人がおっしゃっていました。（リスも狸も出るし）

しかも外だけ歩いていると思っていたらその当時普通に事務所に入ってきました（笑）（今は全く無いのですが…）

いわゆる、一反木綿という妖怪のような長い布がひらひらしているのですが、黒い影のような感じでした。

別に何をするでもなく…いつのまにかどこかへ行っていました。

それから、妖精も多い気がします。事務所にも結構光が驚くべき速度で縦横無尽に流れ星のよ
うに走っています。

普段から妖精に好かれて一緒に行動している方は更に周りに飛んでいて、結構眩しいし騒がし
いです(笑)

鎌倉って、不思議な所です。

今、この本を読んで下さっているあなたの地域は、どうでしょうか？

緑が多いところに沢山いるので、是非妖精に気がついてあげてください。

#理不尽に挟まれる 霊能者

守護霊と話せる友野は、日々お相手の上で光る守護する方々とお話しをさせて頂いています。

分かりました。

このことは、
まだ内密に…

それでつまり
ですね…!!

お客様の状態次第では、まだお話しできないことがあったりもしますので、守護霊と話さないと約束することもあります。

(約束内容)
なります!

言ってる

!!!?

何そのムキムキ!!?

どうして…

桜賀知子
ストロカ

しまった!桜賀和さんは情報の門番である守護霊の声は聞こえず、そこを通り越して大元から取って来てるから…ッ!!



媒介者というお仕事は、
どうやら大変なようです...

友野いわく、霊視鑑定において、相談者様が今知って良い情報と

そうでない情報を守護霊さんが上手く調節して師匠に伝えているそうですが、私は大元の情報源から取ってきているため、度々こういった事が起こります。止めると言っても話始めてからストップがかかるので中々難しいです。

言わないでと言うのに、友野に守護霊が言ってきたりするので

「伝えられないなら教えてくれなくていいんだけど…」と良く言ってます。

守護霊が友野にだけ知っておいて欲しいのかな？と、私は思っています。

私は守護霊の声は聞こえないので、見えたものを好き勝手言ってしまうので、守護霊と友野の約束なんて知る由もありません。

私は守護霊を介さず自分から情報を拾いに行っています。

友野が一人で鑑定をしていた頃は、必要なものだけを淡々と伝えていた鑑定だったのに、私が増えたばかりに、必ず前世がご相談者様に伝わる事になり、近未来の事なども知れる事になってしまったという…、友野と守護霊にとっては中々搔き乱される鑑定となってきました
(笑)

「そいつを止めてくれ」と守護霊から言われてしまう事もあります。

友野が(笑)

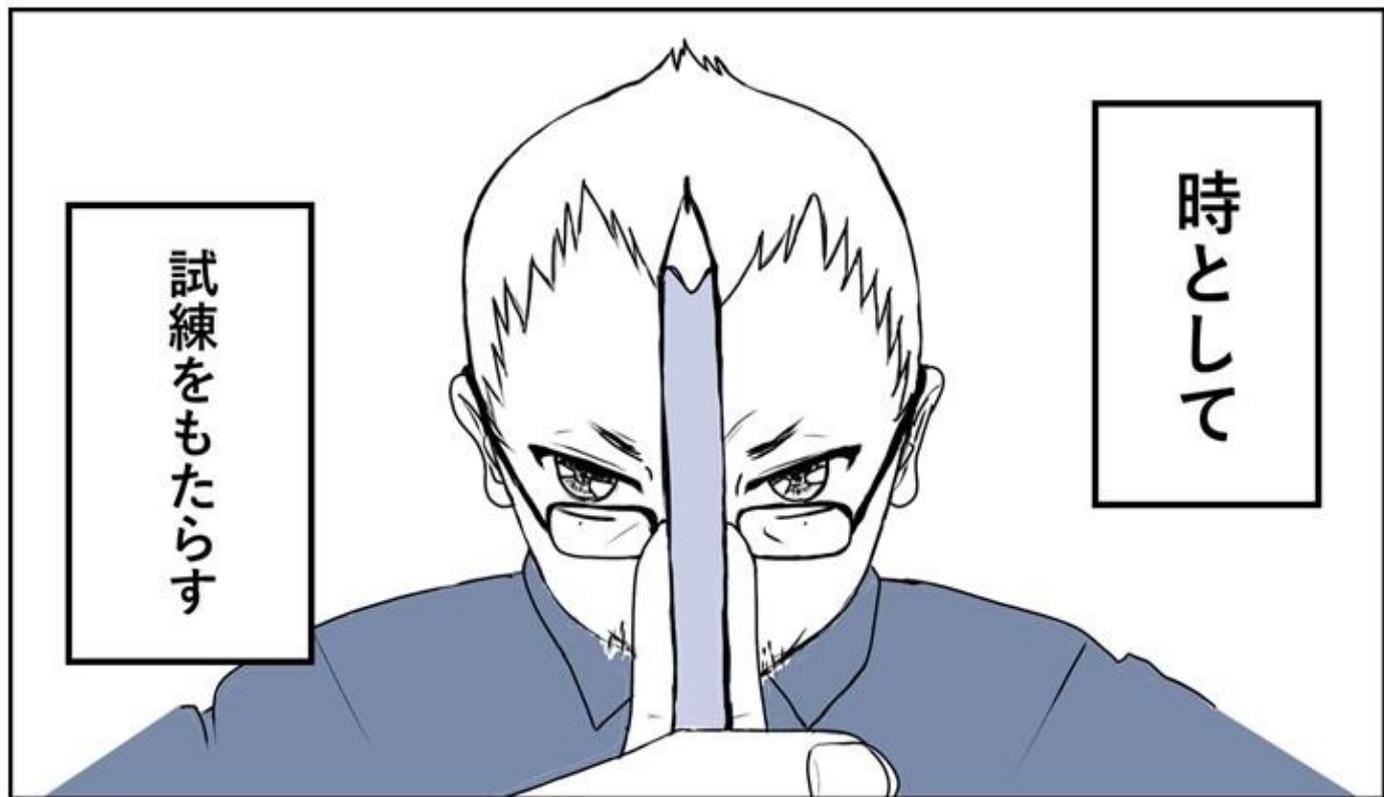
しかし、だからこそより深く精密な鑑定ができるようになったと自負しております。

これから霊視経営コンサルタントである限り、このスタイルは続くかと思えます。

友野には頑張り続けて貰いましょう(笑)

守護霊からの 絵の腕試し

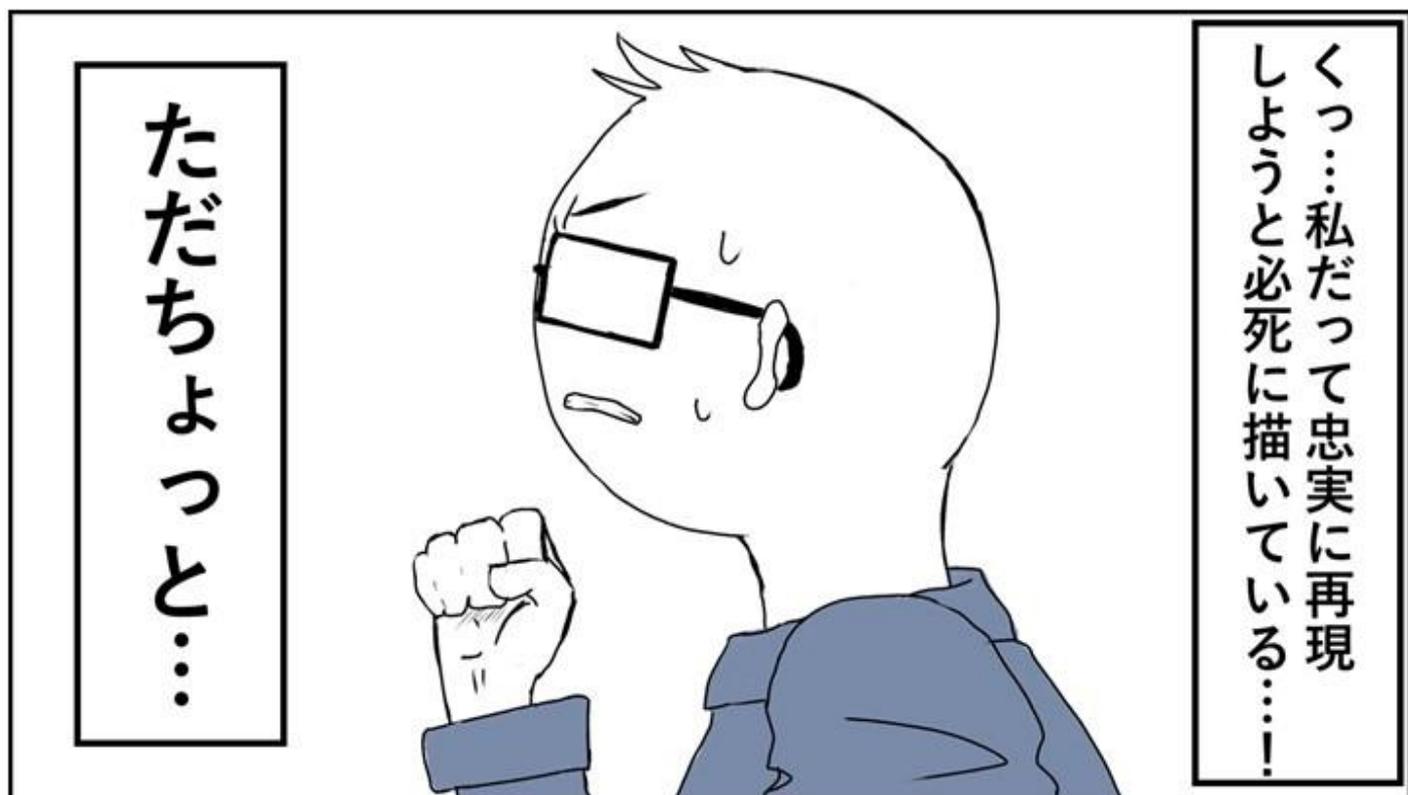
1/3

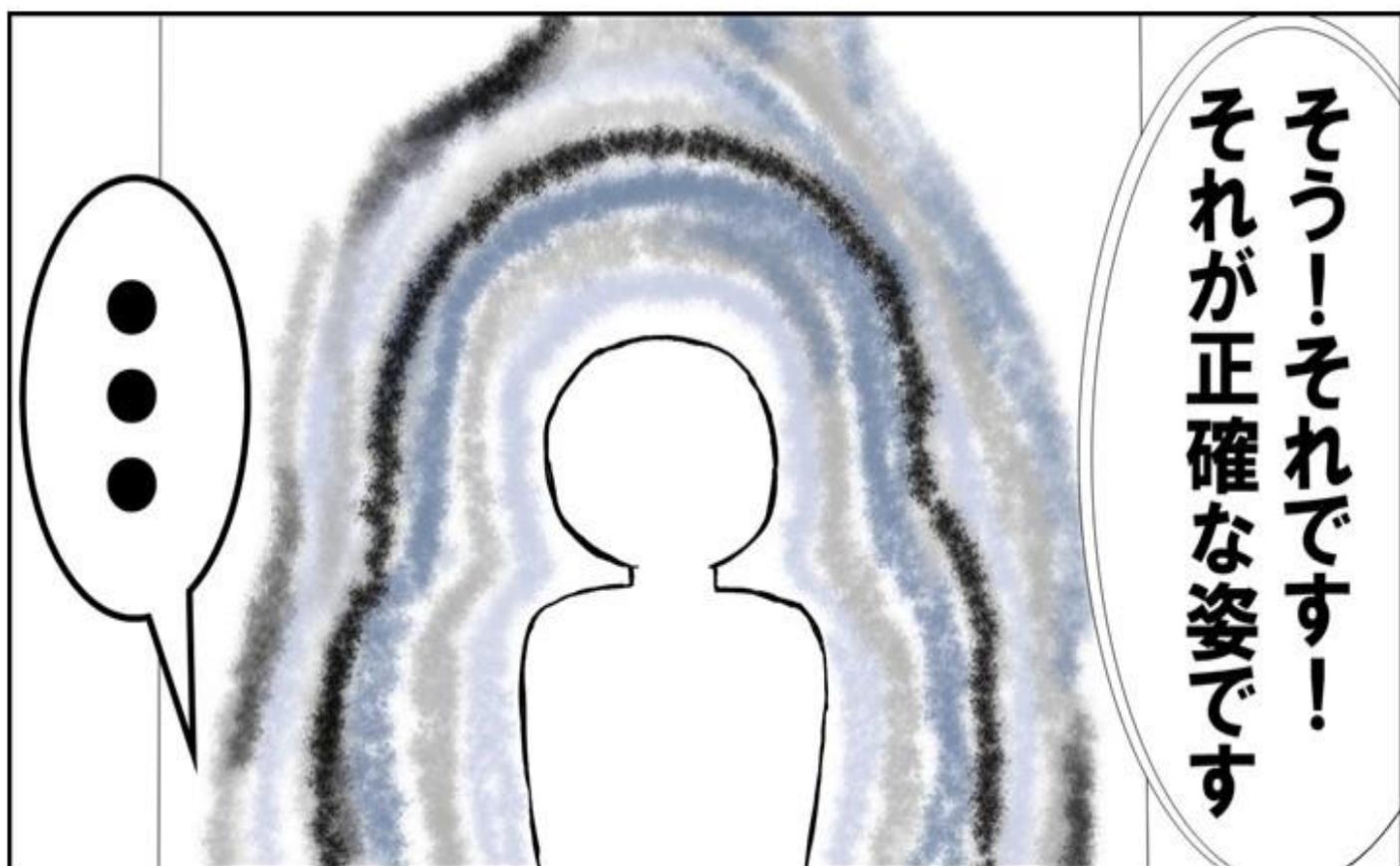




#守護霊からの 絵の腕試し

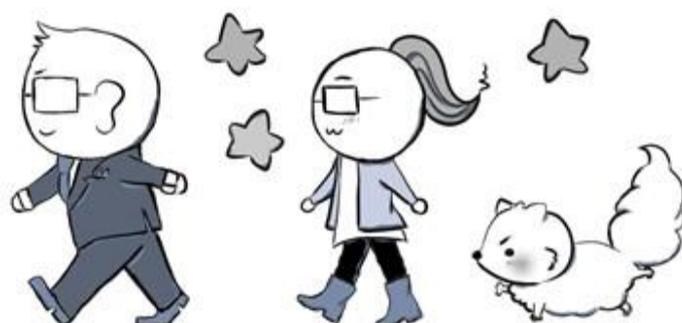
2/3





#守護霊からの 絵の腕試し

3/3



さて、友野は霊視鑑定の際、まずオーラを可視化するために、色鉛筆で鑑定シートに描いていくのですが、稀に守護霊がオーラの色を正確に描いて欲しいという希望から、細かく口を出してくる場合があります。

この回はオーラカラーがレインボーの方を見た時のお話しです。

この時もどうしても、守護霊さんは忠実に描いて欲しいようでした、細かく指示を受けながら友野はいつもの倍時間をかけて描いていました。

実は、守護霊からこういった申し出があるのは、珍しいです。

私はというとその間、お客様とお話ししていました。

細かくオーラを描く事がお客様にとって必要だった：んだと思います。

多分…。

これからも師匠は守護霊から要望があれば難しくとも細かく描いてくれる事でしょう…。

(恐いから…小声)

#恋はどうですか？

友野は守護霊と会話できるので、
守護霊が話してくれるものなら
ほぼ答えられます。

ふむふむ…
同意。

今の職場を転職して、
起業しようかと思っ
ているのですが…

…まだその職場でやり残した
事があるそうなので、辞めな
いように、と。辞めるなら次の
春頃にしてください。

NGです。

サッ



友野は守護霊が聞いて答えてく
れるモノならその話しをそのま
ま伝えます。

ふむふむ…
同意。

家を継ぐか、自分の夢を
叶えるか…。家族を安心させ
たい気持ちもあるし…

…「今世やりたい事をする
と約束してきたよね？」と言っ
てます。お家を継ぐのはあなた
以外にいますよ。

どうですか？

サッ





友野は守護霊と会話できるので、守護霊が話してくれるものならほぼ答えられます。友野は守護霊が聞いて答えてくれるモノならその話しをそのまま伝えます。

が…。

その勢いが鈍る時が一つあります。

「恋愛・結婚」です。

守護霊さんが教えてくれない率が高いのです。何故かと申しますと、「恋は盲目」と言いますように、

その人をその人らしからぬ事態にしてしまうのが色恋。それが楽しくもあるかと思うのですが、

私たちが分かっていたとしてもそれを言う事によってほかの事がおろそかになってはその方にとって元も子もありませんし、

守護霊もその事態だけは避けたいです。軌道修正がとっても大変なのと、

下手したら今世やりたかったことができなくなる可能性だってあります。

エネルギーが上がればそれに見合った相応の方と引きあいます。今に甘んじていたら今のエネルギーの方ですし、

高くする努力をしたらもっとエネルギーの高い方にご縁がある。なので、大概が「仕事を頑張りなさい」です。使命に向かい続けなさい。

とも言い換えられます。エネルギーを上げるのがまず先なのです。結婚なんでもっとです。

これはまさに「神のみぞ知る」

沢山ある未来の選択肢の岐路に私たちは常にあります。最善の未来は用意されていますが、私たちの決断次第でゴールは決まるのです。決めてきた相手だって一人じゃない可能性もあります。

しかし、重要なのはいつも恋愛・結婚ではありません。あなたの人生です。あなたがいかに使命を全うし、喜びの人生を送るか。それだけが重要です。

残酷ですが、守護霊さんにとってあなたの人生が喜びに満ちる事以外はどうでもいいのです。あなたの家族ですら。あなたの人生が喜びに満ちるモノとそれ以外です。

なので、まずは一生懸命仕事をして、エネルギーを上げて時を待つのが良いかと思えます。中には結婚をしない方が幸せな方もおられます。

勿論、恋愛・結婚関係のご相談をしてはいけないというわけではありません。

ご安心ください。

ただ・・・

苦しむ友野と対面する可能性は大です(笑)

ちなみに桜賀和は赤裸々に言ってしまう事もあります(笑)

#友野のコールドリーディング疑惑 1/4



#友野のコールド リーディング疑惑 2/4



#友野のコールドリーディング疑惑 3/4



#友野のコールドリーディング疑惑 4/4



友野はよく、鑑定し始めの時お客様にいくつか質問をしていきます。実はそれは守護霊さんが

「この質問をしてくれ」

「これを聞いてあげてくれ」

「その答えを言わせてあげてくれ」

と言っているのです、あえて聞いているのですが…。傍から見たらコールドリーディングに見えます…(笑)

(言う事によって整理がつくなど、守護霊さんのその方が良い方へいくため、あえて、のようです。

カウンセリングにもなっているのだろうなあと、桜賀和は思っています)

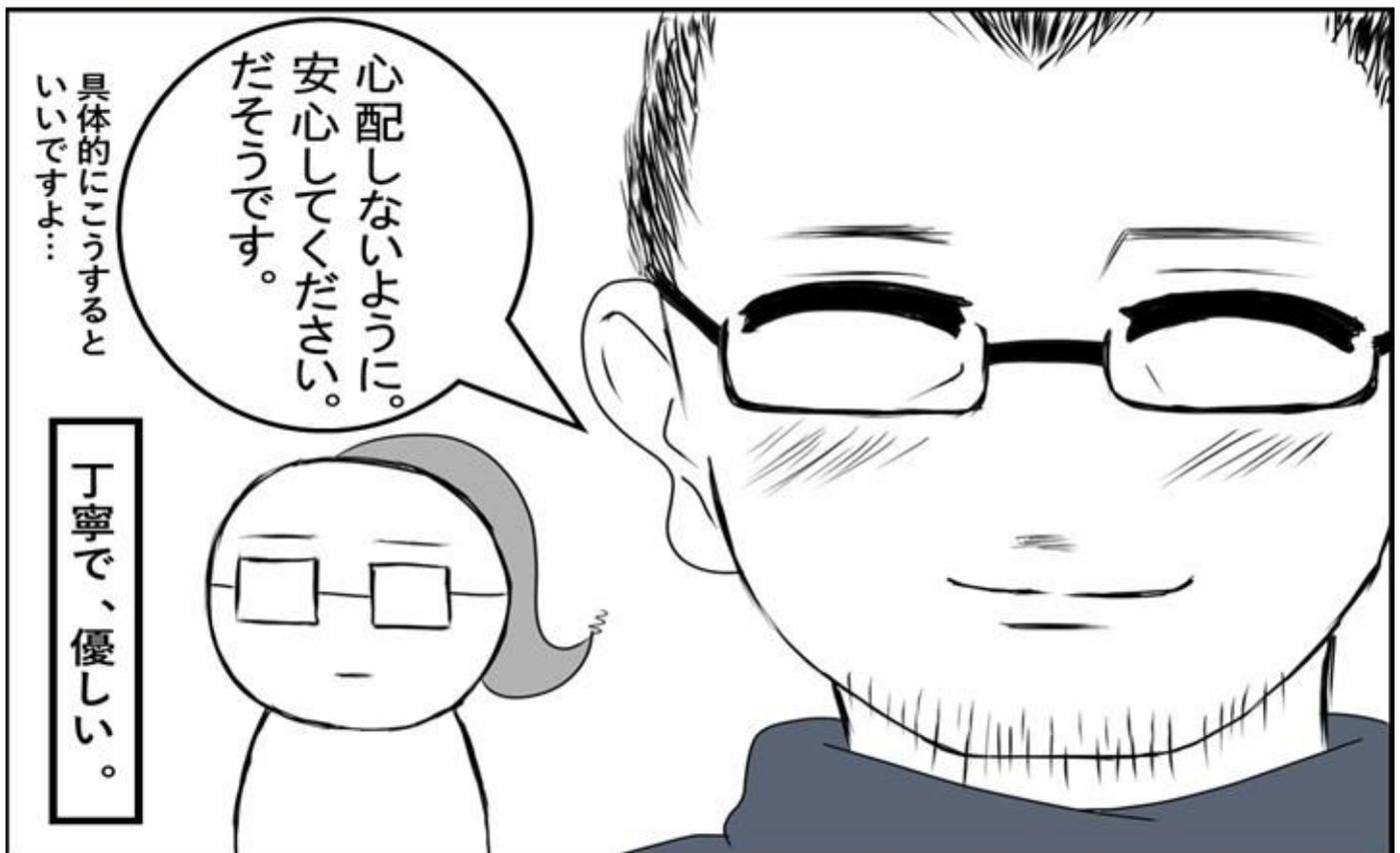
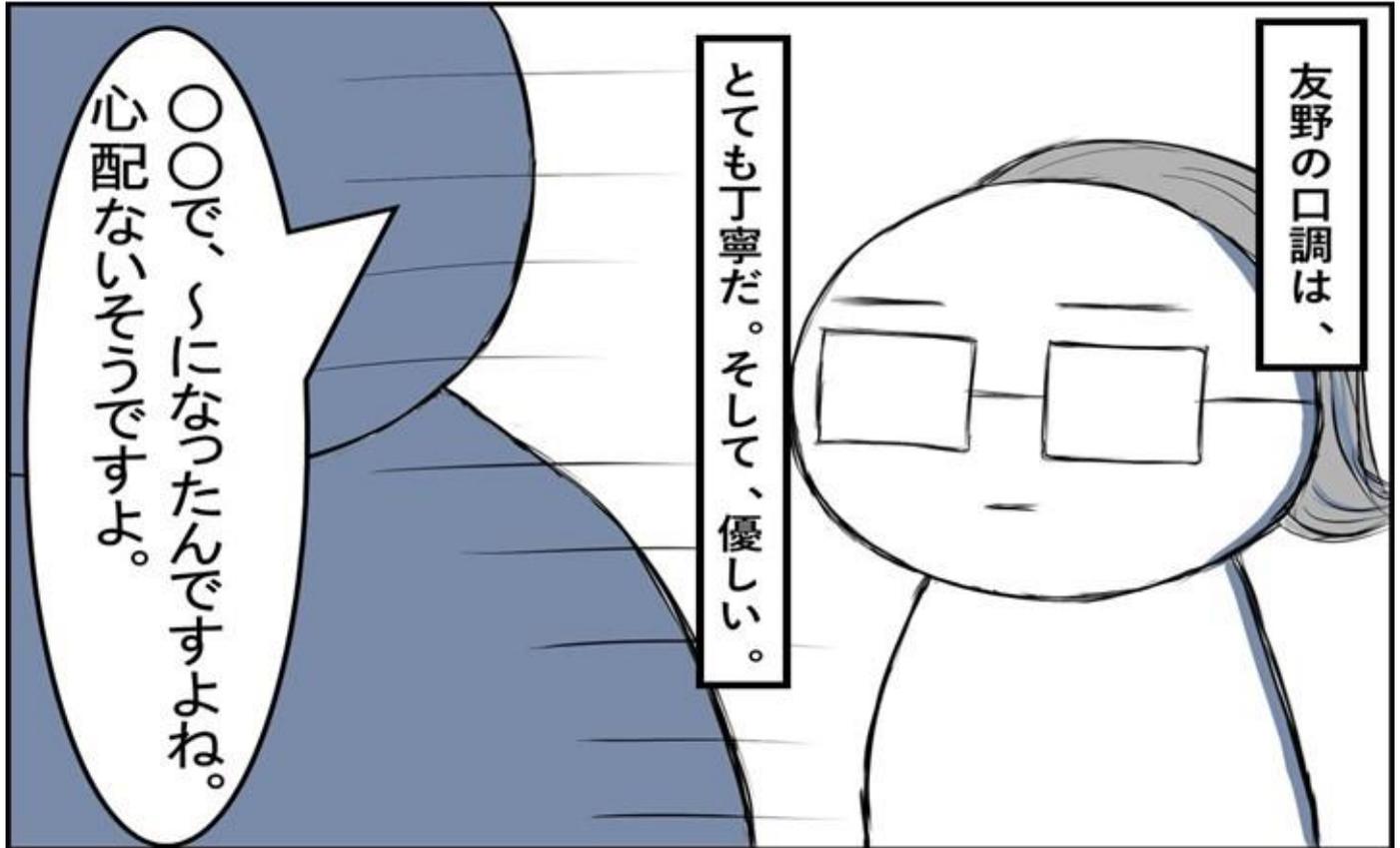
本人(友野)は守護霊の声を聞いている張本人なので違和感なくしていますが、割と初見のお客様は質問してくる友野に「？」となりつつ答えてくださっています。

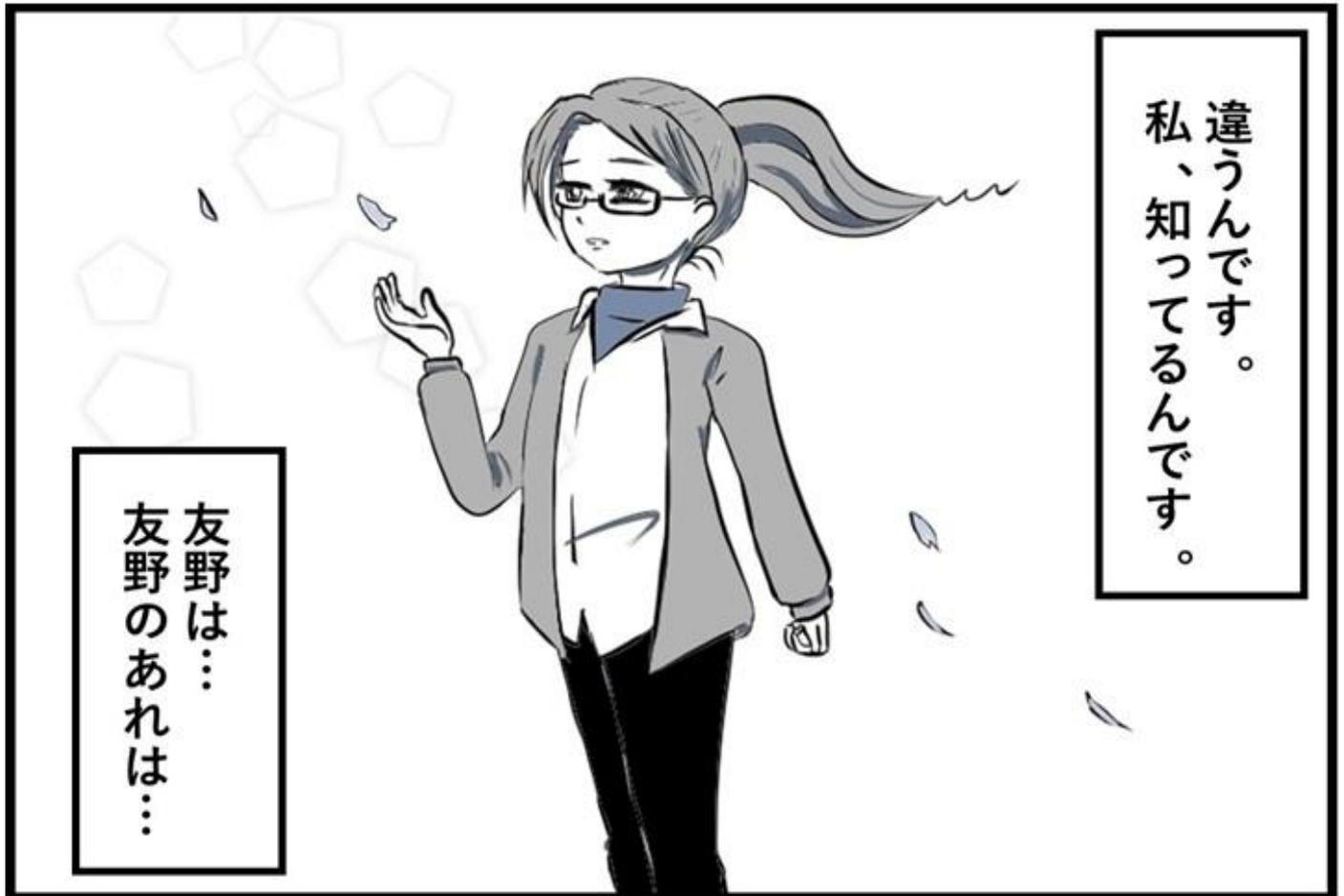
その後コールドリーディングでは不可能な領域に入ってくるので、お客様がご安心される様子はあるのですが…。

「こう質問してくれ」と守護霊さんが言うならば、友野に逃げ道はなし。(笑)
正直に聞くしかありません。

こればかりは、仕方がないですね…。

#友野の性格 偽り疑惑！？





これは、友野と話していた時に分かったもので、本人自ら言っていたのですが（笑）友野が鑑定をする時に色々状況が分かっているにも関わらず、（あまり良くない方面で）とても優しい言葉を選んで言う事があるので、

「タカさんは優しいよねえ…」

と言ったら

「いや、私じゃないから。守護霊が優しい言葉をかけてくれてるんだよ」

そう。タカさんが守護霊さんの言葉を優しく訳して言っているのではなく、守護霊の優しい言葉をそのまま伝えているだけ、とのこと。

もちろん、その逆もあります。それはそのまま言えないなと思うときには、意味を歪曲しないように

慎重に言葉を選んで訳す時もあります。

たまに守護霊とタカさんが話していると忘れて、お客様がタカさんに向けて言葉をかけることがあるのですが…。

「あ、いえ、この内容は私では無くて守護霊が言っているのです…」

「あ、…そっか…」

みたいな少しややこしいこともあります。

もし鑑定を受けて守護霊の言っている事に疑問があれば、

友野に聞けば守護霊に聞いてくれるので、そうしてみてください。

#大好き過ぎて 無意識過ぎた





友野はビジネスが大好きで、大好き過ぎて、

「霊能の仕事もしなさい」という守護霊の言葉を死にかけても無視し続けて(笑)
ビジネスをするほど好きな人間です。

仕事の休息にビジネスの勉強をするほど好きです。(経営者は基本そうだと思いますが)
まるで、ビールのチェイサーにビールを飲むが如くですよね。

そうしましたら、とうとうアレクサにまで

「マーケティング!」と叫んでいました。(本当に)

好きなものを見ると、寝食を忘れてしまうものですよね。

友野は自分の事には疎く、倒れるまで気づかずやってしまうタイプです。

友野以外にもこのような方は多いかと思いますが、体調を崩してしまったり元も子もありません。

特に自営業は仕事Ⅱ体調管理と言っても過言ではありません。

体に何かあったら、その大好きな仕事ができなくなってしまうんだよ、と、いつも友野に言っています。

都度反省はしているようですが、没頭してしまうと中々難しいです。

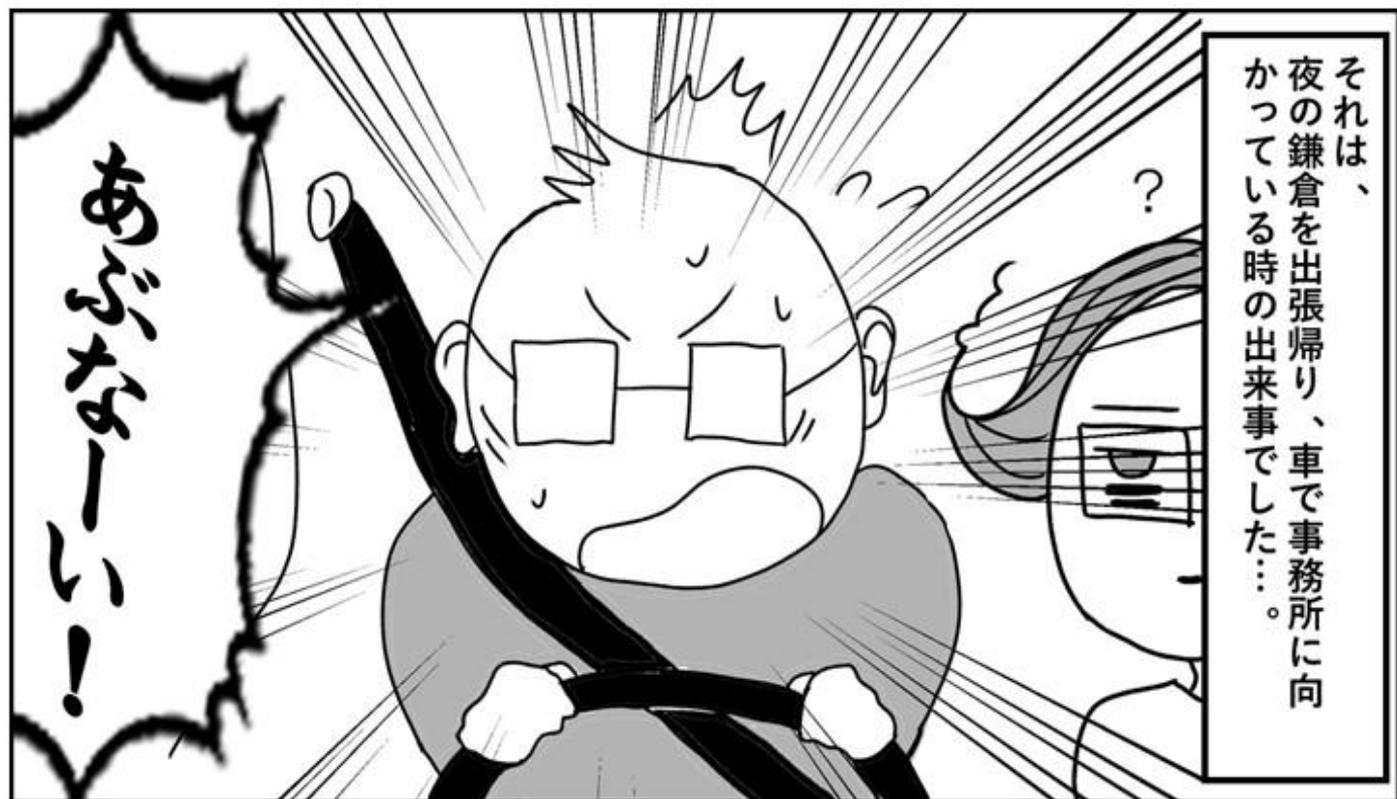
それにしても……。漫画の話しに戻りますが、

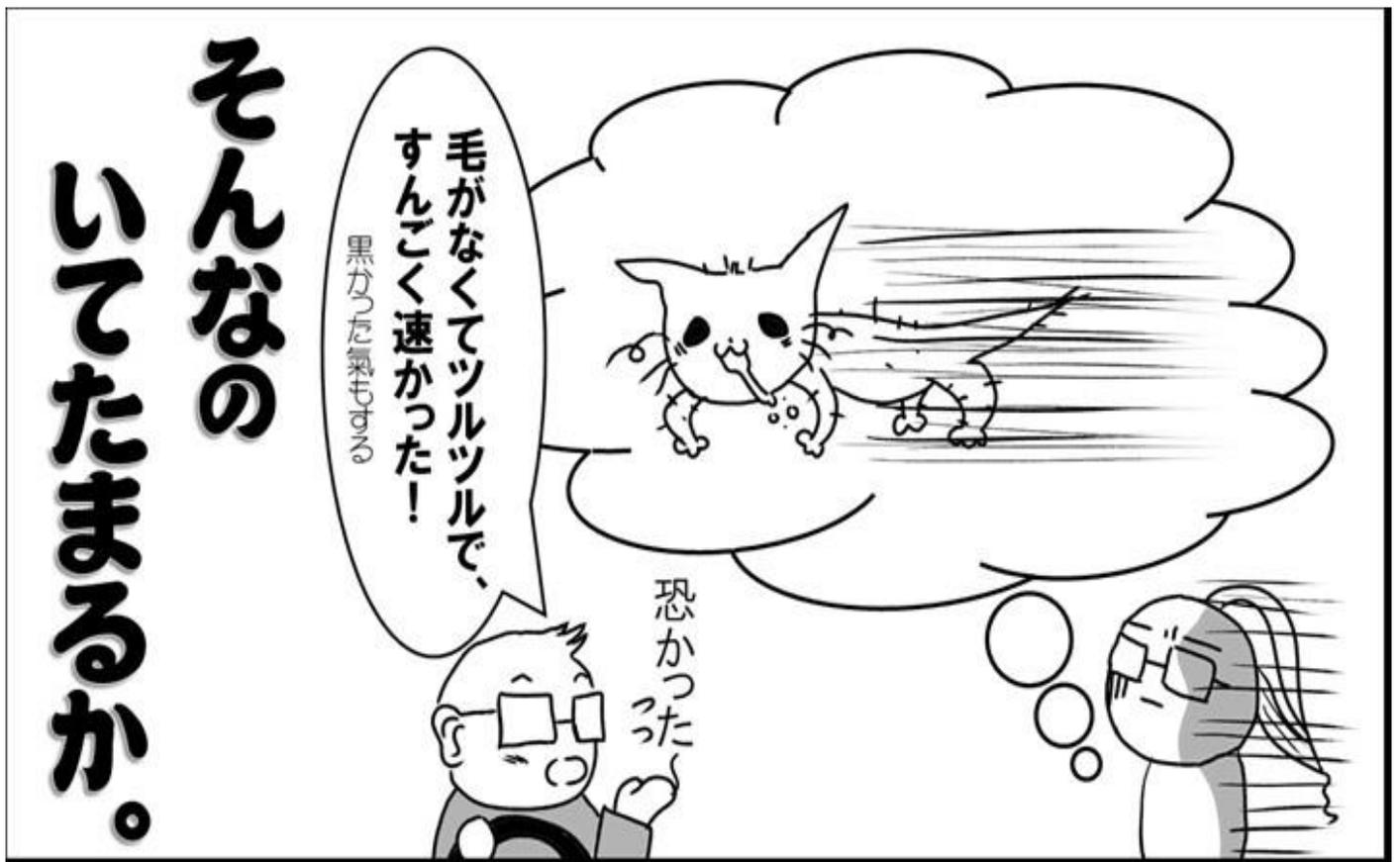
何かちよつと音楽をかけようと思つて間違えて「マーケティング」と言つた後に嬉しそうな顔を
をしたのを見て、

ちよつとあんまり近づかないようにしようかなあ……。と、

思つたのでした(笑)

#飛び出してきたのは…？





それは、夜の鎌倉を出張帰り、車で事務所に向かっている時の出来事でした……。急に友野がブレーキをかけたので、前をちゃんと見てなかった私は、どうしたのか聞いてみました。すると、

友野は目の前に動物のようなものが横切ったのだと言います。

「どんなのがいたの？」

「四つ足のネコぐらいの大きさでね、」

夜の鎌倉に猫や狸が出るのは珍しくありません。しかし、友野は続けました。

「毛がなくてツルツルで、すんごく速かった！」

私はなんとなくは前を見ていましたが……。流石に車の下の方は見ていなかったなので分かりませんでした。

それに、季節はまだ肌寒い頃。毛が無い奴が夜の山に出るなんて考えられません。

「それ、現実の動物じゃないんじゃない？」

「……え……？」

友野は冷静になって、それから「そうかもしれない……」と納得していました。

物心ついた頃から不可視の世界と関わってきて仕事じゃ間違いないのに。

どうしてプライベートだと時折天然になってしまおうのでしょうか？

そんな師匠です。

※ちなみに、普段運転している時は不可視のものと現実のものと完全に見分けられていて、普通に運転できているそうです。

第三章あとがき

この仕事を始めてから、妹を含めて

「いつから見えない世界が見えるようになったのか？」

と聞かれる事が多くなりました。勿論友野は生まれた時、物心ついた頃からです。

ある程度の年齢までオンとオフの切り替えができず、

マイナスなものに絡まれてもどうしたら良いのか分からない状態が続き、苦労したそうです。

「金縛りは週に五回以上あったよ」

と良く言っていますが、そんなのもう出勤ですよね。金縛り出勤日数。週休二日。

いつから見えていたのか？私はどうやらむやに自らしてしまっていたので当時は何も考えていませんでしたが、

やはり私も物心ついた頃からのなのでしょう。

変な事ばかり起きて、「妙な事もあるもんだ」ぐらいで終わらせていました。

怖い思いも毎日すれば割と慣れてきて：むしろ現実の人間におびえながら生きていました。

昔から前世や土地・物件の霊視ができていたのかと言われると私の場合はそうではなく：、

二十代も後半になって「もしや：？」ぐらいに考えていました。

人から「○○って人がね」と名前を教えて貰って、

その人のエピソードを聞いてる内にだんだんとイメージが出てきて、

ハッキリと形が浮かび上がるのですが（当時は）どうも今話しているものとは違うもののように感じました。

「その人って、○○で○○な状態？こういう性格で、○○に困ってる？」

「何で知ってるの…？」

何人名前を聞いても、ほぼ言った事と一致していて、その内相談事が来るようになりました。

相談事に乗っている内に、古い映像なども映画か大河ドラマのように見える事もあり、その当時は

「これは何だろうか？」と不思議に思っていました。分からなかったのと言っていませんでした。それが今から考えると前世だったのだと思います。

とはいえ、どんなに当たろうが、合致しようが、「凄い直感だな」としか思っていないませんでした…

(笑)

友野は守護霊と話し、私は深掘りしようと思うと多岐に深掘りできるタイプ。

友野の霊視と私の霊視はお互いがお互いの能力を補完し合い、向上させているような形です。すり合わせもその場でできて、より緻密に、詳細に鑑定ができるので便利だということ、何より鑑定に来られた方に曖昧ではない、よりくつきりとした鑑定結果を出す事ができるため理想的だと考えています。

能力もそうですが、友野がビジネス経験が豊富という点と、私も沢山の仕事を経験してきた点、裏表が無いのでハッキリと言う傾向があるので、そんな私に友野が少々たじろぎながらも(笑)キツパリと答えを出してくれるのでその流れもお客様からしたら、

「二人の内だけの隠し事というのは無いんだな」と安心できる点だと評価して頂くことも多いです。

その分友野はお相手に伝わるように毎度毎度、凄くフォローをし、心を砕き、

私の分を肩代わりして、理不尽に守護霊にとがめられる事もままりますが…(笑)

ところで、私たちがお客様からもう一つよく聞かれる事があります。

「友野さんたちが言うように、誰しにも靈感があるという事ですが、その靈感をもっと磨くにはどうしたら良いでしょうか？」

私たちが言う靈感というのは、霊を見る事ではなく、人間が本来持っている“霊性”のこと。直感や引き寄せ、いわゆる“運”と呼ばれているものや、人それぞれ持っている能力の霊性。人それぞれの持っている能力の霊性と言うのは、前世から引き継いでいる事が多いのですが、例えば、

人が今何を考えているか分かる

会社全体、会社の人間が毎日どう動いているか分かる

ちよっと先の事が予想できる

書類をちゃんと読む前から直感で良し悪しが分かる

相手の苦痛や痛みが同じように痛んだり苦しくなったりする

などです。勿論心理学などで説明が付くものもありますが、

こちら側の観点も同時に含んだものなのです。

皆さん私と同じで、「何となく分かる、特異な体質」「ちよつと鋭い直感がある」

ぐらいにしか思っていないパターンが多く見受けられます。そして、

たまに能力が強すぎて無意識に困っている人もおられます。その霊性、靈感を磨くのは簡単です。

自覚する事

自分を信じる事

これです。

凄く現実的ですよね(笑)そう。見えない世界は見える世界と連動しているのです。だから、ある意味どうにでもなるんです。

まあ：簡単と言いましたが：。自己肯定感などに現実繋がってくるために難しい人は難しいかもしれません。けれど、焦らずゆっくりです。

まずは自分を知る事から始めてみてください。

番外編



霊障起こる人 だいたい暇…？

正直に言おう…。
霊障で悩んでいる人のほとん
どが…

否定じゃないよ。
お話ししていきますね。

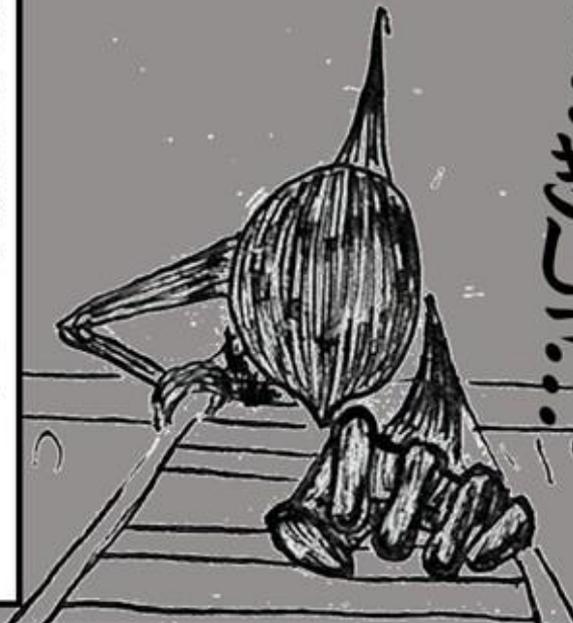


暇人が多い！！

※全ての人が一律に、というわけではありません。

私の例でお話すると、幽霊なんて信じて
無いというのに…、変な感じというの分
かっていました。一人暮らしの時に2段
ベッドの上に寝ていたので、毎晩のよ
うに現れる人影があります。

ぎゅー…ぎゅー…



それはだんだん近づいてきて、とうとう
登ってきそうに…。最初は恐かったので
すが、それを奴が繰り返し返すうちに段々怒
りが湧きあがってきました。

何故なら…、私の家計は火の車だったので
す！明日をも知れない懐だったのです！

私は、キレました(笑)

※桜賀和です(笑)



今現実を生きて無いヤツの相手
なんてしてる場合じゃないんじゃ!
家賃も光熱費もなくていいなお前
は!暇なら家事でもするか!どっかで
稼いで家にいれるや!でなければ邪
魔だどっか行け!

それ以来、アイツは出なくなった(笑)
浮遊霊だとかそういうものなんてそんな
ものだ。
未来に向かって今を一生懸命生きていけば、
そういったものと波長は合わず、関わらず
に生きていけます。



恐がらない!
弱氣にならない!
招いているのは自分なのです!

幽霊は元は人間:
人間で考えたら不法侵入で、勝手に
居座っている迷惑人間なのです!
強い氣持ちで拒絶しましょう!

正直に言おう…。

霊障で悩んでいる人のほとんどが…

暇人が多い！！

（全ての人が一律にそうとは限りません）

私の例でお話しすると、幽霊なんて信じて無いというのに…、変な感じというのは分かっていた。ました。

一人暮らしの時に2段ベッドの上に寝ていたのですが、その当時、毎晩のように現れる人影があります。

日に日にそれはだんだん近づいてきて、とうとう2段ベッドの階段に手をかけて登ってきそうに…。

近づいてくる初日からしばらくは恐かったのですが、日が経つうちに段々怒りが湧きあがってきました。何故なら…、

私の家計は火の車だったのです！

明日をも知れない懐だったのです！

丁度会社もクビになったりしててこ舞いだったのです！

その部屋の角から日に日に近づいてくる奴が、とうとう階段を登って私に近づいてきた時、私は怒りのままに相手に心の中で怒りをぶちまけました。

もし、顔でも柵から現れようなら殴り掛かるつもりでした。セリフ的にはこんな感じです。

「今現実を生きて無いヤツの相手なんてしてる場合じゃないんじゃないか！」

家賃も光熱費もなくていいなお前は！

暇なら家事でもするか、どっかで稼いで家にいれるや！でなければ邪魔だどっか行け！」

凄い言葉ですね…（汗）しかしこの時は必死だったのです。気配は一瞬にして消えました。それ以来、アイツは出なくなりました（笑）浮遊霊だとかそういういったものなんてそんなものです。

暇、というのは恐がる隙がある。寂しい気持ちや依存したい気持ちなどがあって、何の得にも勉強にも、お金にもご飯にもならないマイナスなだけの、どうでもいいものに付き合ってしまう余裕がある、

という暇です。私には当時その隙（暇）があっただのでつけ入られた、ということ。

未来に向かって今を一生懸命生きていけば、そういったものと波長は合わず、関わらずに生きていきます。

恐がらない！

弱氣にならない！

招いているのは自分なのです！

弱い心、隙間に寄ってくるのです。（魔が差す）それは人間関係の引き寄せも同じです！
スピリチュアルの世界はいつも自分です。

それに、幽霊は元は人間……。人間で考えたら不法侵入で、勝手に居座っている迷惑人間なのです！

強い気持ちで拒絶しましょう！

#通じないのも 良い思い出

産まれて一番初めの記憶があるのは生後二週間目ぐらいから。その時から年齢が上がるごとに理解ができてきます。生後二週間〜三歳までも沢山見て、聞いて、分かっています。

例えば…

こんな時間だ！

もう寝かそつー！

寝かすな。

眠くないんだ。

と、思ってたリ

※勿論、個人差があります。これは私の感想でした。

あと、多かったのはコレ

あはははは！

うわあ！
ほっぺ
柔らかからい！
可愛いー！！

何か
不機嫌そう
だけど…

何が オカシイ？

何回やるんだうとうしい！

退院して間もなくは桶のようなお風呂に入れて貰っていました。お風呂の時間は好きだったので、時折恐怖が襲う。

あれ？
いつも気持ちよさそう
なのになあ…。
寒いのかなあ？

ぱちゅぱちゅ

くっ！
今日は首が痛い
日だ！しかも沈
みそう！

おかん、持つところがいつもと違う！
いつもより沈め方が深すぎる！
氣付いて！

とも言えず。

顔に出るから本当は察して欲しい…
というのには赤ちゃんの主張。

とはいえ思うのは、

いつもより美味しい！
昨日の不味いのより美味しい！
もっとくれ！
もっとくれ！

ぐにゅぐにゅ

何か今日は
良く食べるわ！

人間を一人世話するというのは本当に
大変な事。半分本能なので、全ては
汲み取らなくても良いと思います。

赤ちゃんにとって一番大事なのは、
お父さんとお母さんの心身の健康なの
ですから。

産まれて一番初めの記憶があるのは生後二週間目ぐらいから。生後二週間〜三歳までも沢山見て、聞いて、分かっています。

例えば…。母親が「もうこんな時間だから寝かそう！」と言った時眠くなかったら、

「寝かすな。眠くないんだ」

と、思っていたりします。

(勿論感じ方は人間なので赤ちゃんによって違います。私の場合はこんな感じで思っていました。)

言葉も最初の内は理解が難しかったのですが、ある日から何となく分かるようになってきました)

あと、多かったのはほっぺをツンツンされたりすること。

「何回やるんだうっとおしいなあ。何もおかしくないよ」

と思っただけでしたが、全員に対して思っている感じではありませんでした。該当する対象は、自分を大事にしてくれそうかそうでないか？

今から思うと霊感で周りの人間を理解していました。

それから、こんなこともありました。退院して間もなくは桶のようなお風呂に入れて貰っていました。お風呂の時間は好きだったので、

時折恐怖が襲う。最初の内は赤ちゃん用の風呂桶に入れて貰っていたのですが、赤ちゃんにとってはとても深さがあります。

ちゃんと首をもって入れてくれる日は私はお風呂は気持ち良くて、好きな時間の一つでしたが、

首を持つ手の位置が違う日は必ず私をお湯に沈めすぎる傾向があり、その時は危機感を感じていました。

しかし、それをうったえることもできず耐えるのみでした(笑)

顔に出るから本当は察して欲しい……。と当時思っていました。今となっては良い思い出です。

心の隅に入れておいて欲しいのは：赤ちゃんはどんなに小さくても

見えて、

聞こえて、

分かっている、

ということ。

分からないから！と大人は言いますが、分かっています。

大きくなったら覚えていないだろうというのも間違いです。魂が覚えています。

とはいえ思うのは、

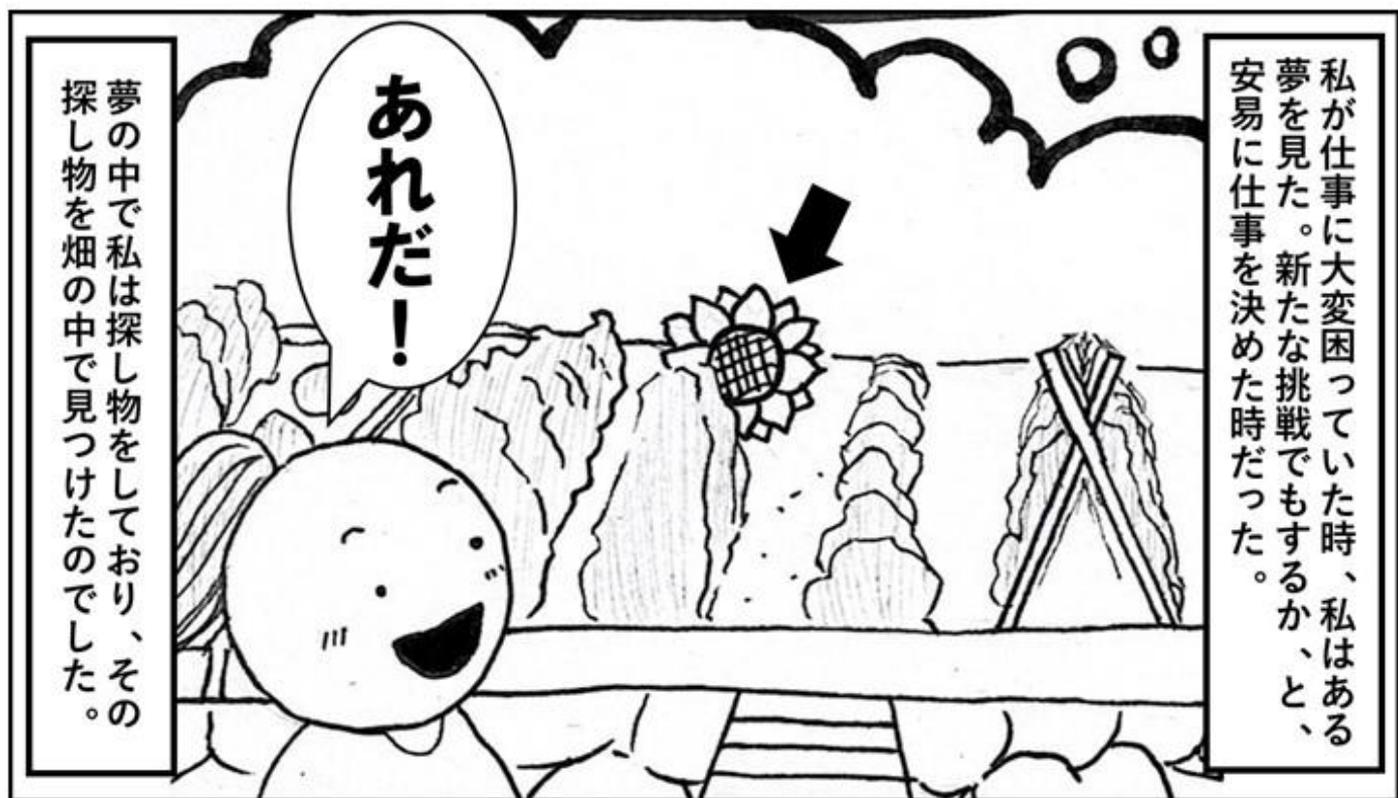
一人の人間の、命を預かる重責を抱える育児。

この世界をめいっぱい楽しもうとするのは子供が元氣なら当然なので、お世話は大変…。

赤ちゃんの全ては汲み取らなくても良いと思います。

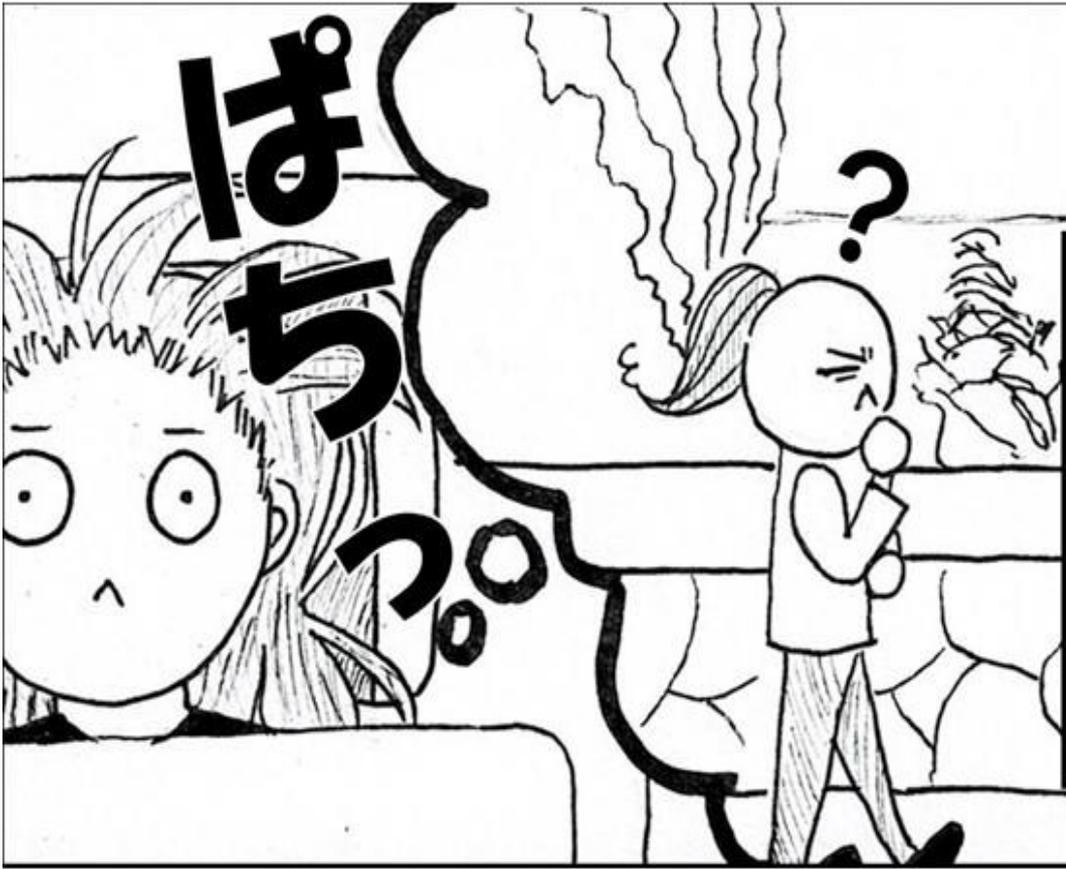
赤ちゃんにとって一番大事なのは、お父さんとお母さんの心身の健康なのですから。

#ダジャレで教えてあげましょう



あったはずなのに何で無くなってたんだろう……？そう思いながら別の畑に行こうとするところで、

目が覚めました。



こういった夢は初めてだったので、起きてから何だか考えてしまいました。その結果、

畑……畑が違った……
畑……畑が違った……
畑……畑が違った……

選んだ仕事は畑違い!?

ダジャレ!?

鈍感な私に分かるように、精一杯守護霊さんか誰かが教えてくれたのだらうと思います。

私が仕事に大変困っていた時、私はある夢を見た。

新たな挑戦でもするか、と、安易に仕事を決めた時だった。夢の中で私は探し物をしており、その探し物を畑の中で見つけたのでした。

しかし、畑に入った瞬間見つけたはずのものが無くなっていました。すると、

「ここには無いぞ！違う畑じゃないか？」

と、おじいさんがアドバイスをくれた。不法侵入だというのに、とても親切だ……。と思いながら段差のある畑から降りて、

違う畑に向かった。あつたはずなのに何で無くなってたんだろう……？そう思いながら別の畑に行こうとするとところで、

目が覚めました。

こういった夢は初めてだったので、起きてから何だか考えてしまいました。

畑：何かを探していて、見つけた：と思ったのに無かった。

「畑が違うんじゃないのか？」と言われた：

畑が違う：？

畑違い！？

私が決めようとしていた仕事は「畑違い！？」

余りの分かりやすさに笑ってしまいました。夢のアドバイスのおかげで私は畑違いの仕事をしていないで済みました。

恐らく、ちよつとやさつとじゃ分からない鈍感な私に分かるように、精一杯守護霊さんか誰かが教えてくれたのだらうと思います。

夢の全てが意味があるわけではありませんが、夢占いなどで抜粋読みして自身の状態を軽く知るにはとてもよいと思います。

暗い夢などはそのまま真に受けず、プラスにとると吉です。夢は夢、です。

#妹はツライよ



でも本当に一体どういう事なの？
絶対ありえない…。
でも昔から姉の周りって
こんな事ばかり…。



姉ってやっぱり何かあるのかな？
こんなの普通に考えて変だよな？
他にも色々心配だし…
一体どうしたら…

妹
どうしよう神経してるの!?

いや、何飲んでんだよ！
普通飲まないでしょこんなの！
信じらんないわ！
慣れてんじやねーよ！

お。
ありがとう

このいっぱいいっぱいな
中でのツツコミ…(笑)
妹の心労は
こうして蓄積していった…(笑)

今日は可哀そうな妹のお話しです(笑)

私たち姉妹が二十代の頃、お互い一人暮らしをしていたので、お互いの家に泊まったり、夕飯を一緒に食べたりして過ごしていました。仲が良いと言っているのか、妹が我慢しているのか：(笑)旅行に行ったりもしてました。

しかし、私がまだ先天的についてるものが居た時、そして私も妹もそんなのが居るとは知らない時、

本当にしょっちゅう色々な不思議な事が起こるので、妹は良く心配をしながらも巻き込まれていました(笑)

その内の一つのエピソードが、このお茶事件です。緑茶を入れたのですが、一瞬目を離した隙に：、私のお茶だけまるで何日も置いておいてしまったかのように、濃い麦茶のように変色してしまいました。

妹は良いお茶をせっかく淹れたのにまた変な事が起きた！

コワイ！ナニコレ！？どういうこと！？

という整理立てできない状態になってました。

しかしそこで私は普通に「ありがと」と、その麦茶のようになってしまったお茶を飲んだ事で更に妹の混乱が増し、

漫画のような鋭いツツコミをした…。という流れです。因みにこの後、妹にお茶をぶん取られて、

「捨てろッ！！」

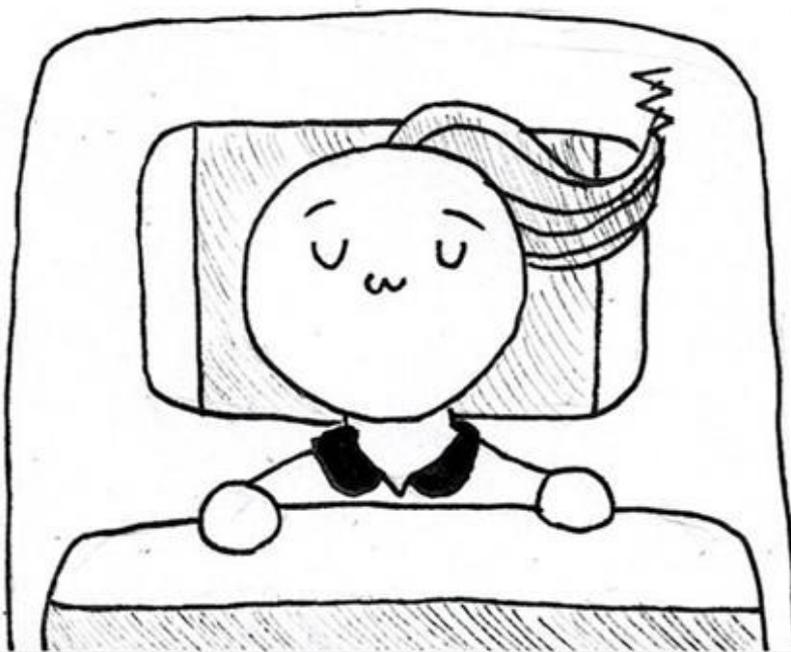
と、怒り任せに捨てられました。頼もしい妹の心労は、こうして蓄積した…

のかもしれない。

このお茶は恐らくお茶だけ時間の流れが変わって、時が経ったのだと思われま
す。
妹の判断は正しいです。

#ダメ！天邪鬼

まだ桜賀和が小学生だった頃。
この世界がどうなっているのか不思議で
仕方がなく、寝る前に色々想像したもの
でしたが、自分の人生がどうなっている
んだろう？と思い立ち考えた時でした。



寝入りばなに突然、
映像が出てきたのです。

どわー！?

見渡す限りの線、線、線、線！
暗闇に白く発光し、
あみだくじのように右に左に
伸びています。
とんでもない量でした。

※すみません。上手く描けませんでした…(笑)

えっ!? こんなに沢山!
無限大にあるじゃん!



この道はつまらない

この道もあの道も
行止まり



あの道もその道も
イバラ過ぎて現実味
が無い...



どれが正解!? 選べない!

とはいえ、最善と思われる道は一瞬だったので全ては分かりませんが、その内の2、3個と限られているようでした。混乱した結果、



よし。
わざと最善じゃない道を行ってみよう! 決められた道なんてつまらない!

わざと
変な方へ行こう!



と、小学生の頭で決断したこの事によって、行止まりばかりのトンでもなく大変な人生を歩むことになりました。絶対に、マネしてはいけません!

まだ桜賀和が小学生だった頃。この世界がどうなっているのか不思議で仕方がなく、寝る前に色々想像したものでしたが、

「自分の人生がどうなっているんだらう？」

と思い立ち、考えた時でした。寝入りばなに突然、映像が出てきたのです。

見渡す限りの線、線、線！

暗闇に白く発光し、あみだくじのように右に左に伸びています。とんでもない量でした。

※すみません。上手く描けませんでした：(笑)

とはいえ、最善と思われる道は一瞬だったので全ては分かりませんが、その内の二、三個と限られているようでした。混乱した結果、

「よし。わざと最善じゃない道を行ってみよう！決められた道なんてつまらない！」

と、小学生の頭で決断したこの事によって、行止まりばかりのとんでもなく大変な人生を歩むことになりました…。

最善な道というのは人それぞれの最善があります。自分で決めてきた道でもあり、誰かの役に立つ道でもあります。

無意味な苦行めいたことに時間（命）を使ってる暇などありません。

絶対に、マネしてはいけません！

これは言い換えれば「逃げ」にもなります。逃げればさらに大きくなって目の前に現れる。それが決めてきた責任です。

霊障下での 精神病院





メンタルがちよつと強い話し…と考えた時に思い出した笑い話なのですが、

その昔、そこまでの原因もなく死を望みだしてしまい、これはオカシイと思い、（今から思うと悲惨でしたが）

もう流石に病んだと思い、精神病院に産まれて初めて行った時の事。

この時はまだ霊障だとは思っても見ませんでした。でも今から思えば絶えず後ろや横に気配を感じ、

時折急激に気持ち沈み、感情が無くなり、「死のう」と考える事が頻繁に繰り返されていた時期でした。

今の状態を書く紙を渡されたので、とにかく解決したくてありつたけを書きました。

それにしてもです。

今まで何があってもやり続けて、友達や兄弟に「どうして直ぐやめないの!？」と言われるほど職場が酷くても病まなかった私がこんな事になるとは…。

「やはりあれだけの事が続けば自分でも精神病むんだな！」

と、自分の底が分かったことに妙な安心感を感じながら書きました。とはいえ、

ネットに転がっているような鬱などとは様子が違うような気はしていました。「本当にそうなのか…？」と疑問視はしていたのですが、

もはやこの時は精神科に行くしか方法がありません。（実はこの後、不可視の世界も視野に入れてお寺に行ったりもしました）

話しを元に戻すと、とうとうお医者さんの診察になったのですが、お医者さんが紙を見ながらしきりに首を傾げて

「おかしいなあ」と言い出します。「内容は確かに鬱だしこのままじゃいけないと思うんだけど」と、不思議がる。

どういふことなのかさっぱりわからない私も首を傾げると、

「いやね、精神病んだ人って：粹いっばいに大きく文字書かないんだよね」

最初何を言っているのか良く分かりませんが、自分の書いた字を思い出して何とも言えない：、複雑な気持ちになりました。

(この時も自暴自棄のような気分が続いており、面白い反応はできませんでした)

私は元々、粹いっばいに大きく書く性格でした。こんな状態なのに、字はそのまま。精神科の先生によるとかなり元気な人の字。

状態は鬱のような感じなのに、文字は元氣。では、私の状態は何なのか？また疑問が増えてしまった…。

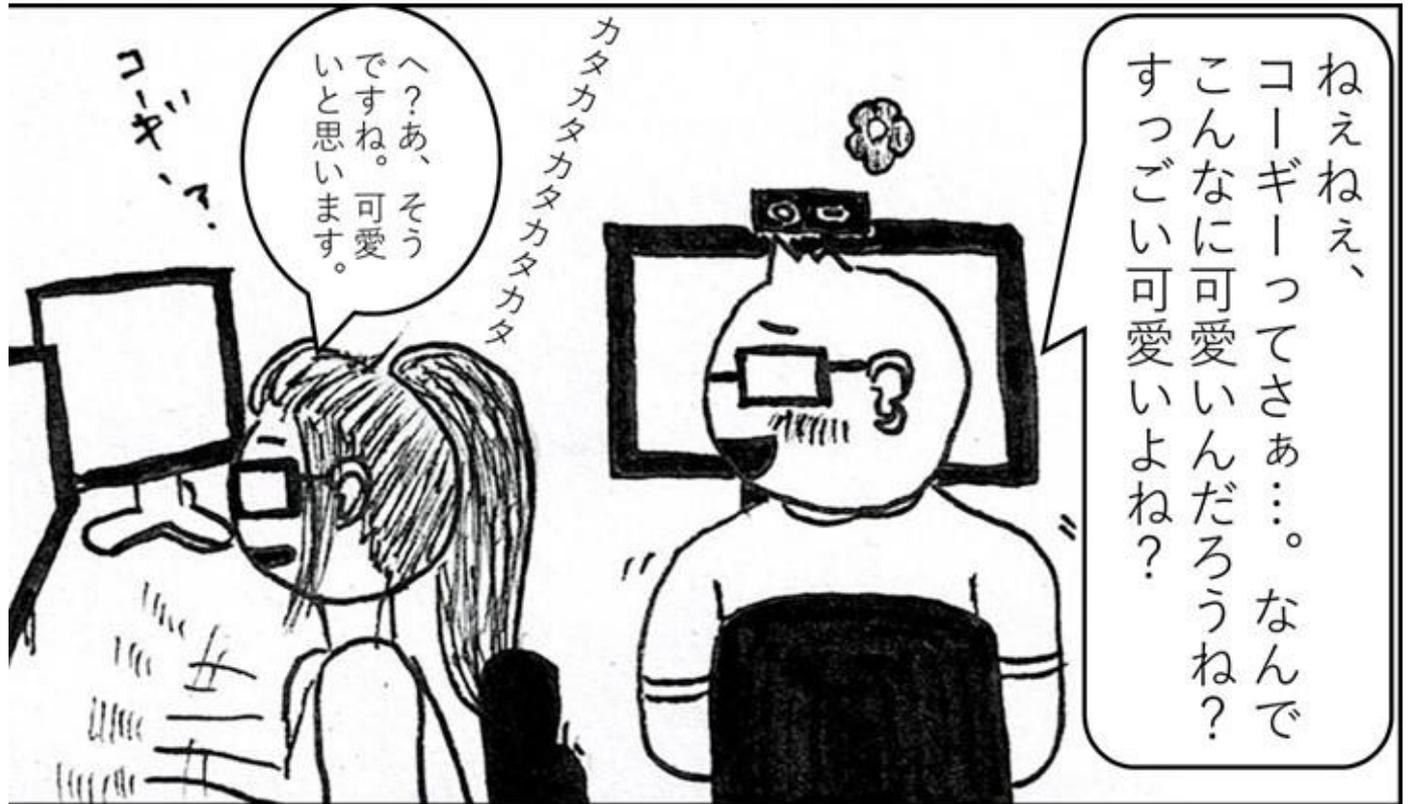
『こんなになっても私は病氣にならないのかあ。じゃあこの状態はどういう状態なんだ？』
こんな矛盾した日々をかなり過ごしました。後から自分に憑いているものの感情だと分かりましたが、迷惑な事です。

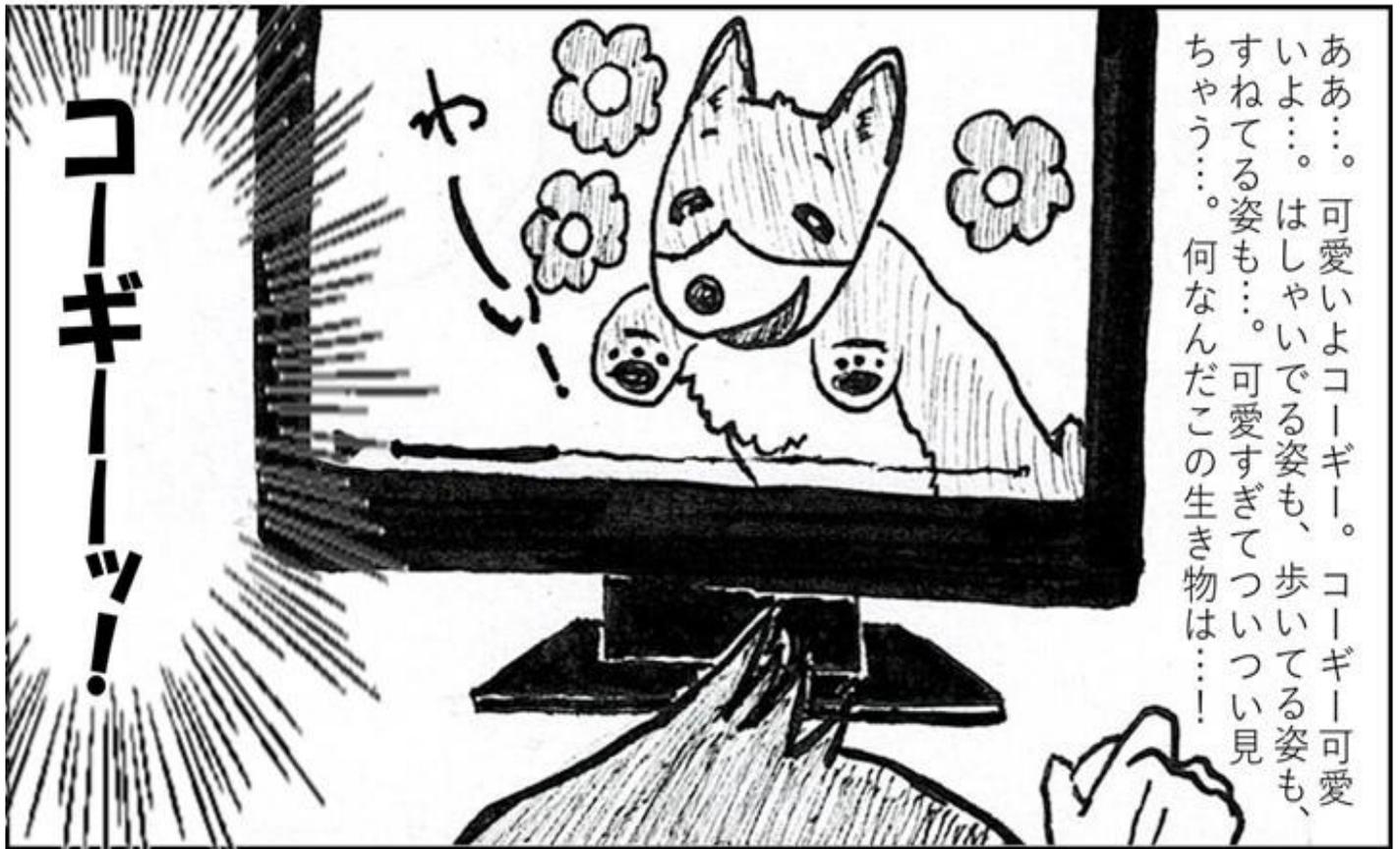
そして、現実と不可視の世界の闇に挟まれながら生きている私の精神…。凶太すぎる…。

この時も後からこの状態が妙すぎて笑いましたが、今思い出しても笑えます(笑)

とりあえずこうなったらお経は効きませんでした。

#引き寄せ、 発動しました。





師匠友野はコーギーが大好きです。

外で歩いていた見知らぬコーギーに出会ったことを逐一私に報告してくださるほど大好きです。

大好き過ぎて仕事の合間によく動画を見えています。

そんなことをしていたら偶然オマケでコーギーの絵柄がついたマウスパッドがやってきたのです。

(ネットで買っていたのですが、そこにはオマケのことは一切出ていませんでした)

これはこれでいい引き寄せだと思おうのですが…。

本人的には「そうではないんだ…」なのだそうです。

ただ、コーギーが好きなんでしょうね(笑)

折角引き寄せたのに、中々難しいものです。



おわりに

最後までご覧くださいましたありがとうございます。

漫画を描くきっかけがきっかけだけに、お見苦しい点もあったかと思えます。感謝いたします。

とにかく、絵はプロではないので下手でもいいから伝わるように……。と、

描き始め、気がついたら三十三話以上続いておりました。

オンラインサロン限定などの漫画を入れるともっと数が行くかと思えます。

この漫画の内容はあくまで私のお話です。

霊障や見えない世界というものは発達障害と同じで、人により千差万別です。

しかし、見えない世界に困っている方にとっては近い事や、

キーワードになる事はいくつか類似点などがあるかと思えますので、参考になれば幸いです。

と、いうのも、これだけスピリチュアルや見えない世界というのが一般化しつつあるというのに、本当の所というのはあまりと言いますか、ほとんど表に出ておらず、こうして実際に今現在も生業にしている者が生きた情報を漫画にしているというのも無かったので、形にしてみました。

何度も言ってしまいましたが、靈感というのは特別なものではなく誰にでもあるものですし、霊能者という者は選ばれた人間などではなく、霊視を生業にするのに特化した靈感だったから仕事にしている。という事です。なので、今この本を読んでくださっているあなたにもあなた特有の靈感がある。という事です。

それから、漫画では描いていませんが発達障害。これもまた靈感と同じで人の数ほど特徴があるようですね。霊能を生業にしている方々の間で有名なのは「ADHD（注意欠如・多動症）は靈感が強い人が多い」と言われています。実際私も多いと思っております。

ADHDに限らず、人は様々な得意不得意があり、様々な能力を有しています。しかし、現代社会

では全員一律。抜きん出る事や、はみ出す事をよしとせず、そうなるダメ人間かのようにレツテルを貼られてしまうように思います。

「人と同じ事をしなければならぬ」

主にそう思って、我慢して、我慢して、人生どうしてよいか分からず鑑定に来られる方はとても多いです。

我慢すればするほど、エネルギーが小さくなり、靈感も小さく縮こまっていき、本当にこの世界でやりに来たことからどんどん遠のいていき、何のために産まれてきたのか分からなくなる。

魂と守護霊だけが約束を覚えていて、その摩擦で体に出たり、精神に出たりします。

「そっちじゃないよ！苦しまないで！こっちだよ！」

守護霊は常にサインを出し続けており、自分の心の奥底では分かっているのに世間体や常識にと
らわれて修正ができない…。

どう生きたいのか？

どういう未来に行きたいのか？

それをうやむやにしまっているように見えます。

友野は臨死体験した時にあちらで言われました

「喜びの人生を送れたか？」

問われるのはそこだけだそうです。どんな善行をしたか？どれだけの人数を助けたか？どれだけ世界に貢献したか？などではなく、あなた自身が“喜びの人生を送れたか？”ただそれだけ。この世界はあなたが主役の舞台なのです。

霊感が無い人はいないのですが、どうしても分からない…という方がおられたらこう考えて頂きたいです。

見えない世界は現実世界でどうにかなるし、

現実世界は見えない世界に大きく左右される。二つは繋がっています。

見えない世界で困っていたら現実世界からテコ入れをすれば手が届きます。

だから現実世界で向上しようとして絶対に諦めず行動し続ければ、光明が差す。この地球の世界はそうできているようです。

こんな私にも下手くそな走り方で走り続けてたら天国から梯子が降りてきました。

下手くそな走りでも良い！と全力で走ったから梯子が降りてきました。

絶対なんとかあります。

諦めたら、例えどんなに良いところまで行っても終わりです。

足元ばかり見ず、方向を指し示す星から目をそらさずに走り続けてください。走り続ける。行動し続けていると必ず見える世界も見えない世界もあなたを見てくれていて、手を差し伸べてくれる瞬間があります。

諦めないで。

世界は実はとてもシンプルに作られています。



感謝

友野高広師

妹

元B社BAのM様

山崎益様

感謝いたします。